



住んでみたい 住み続けたい やまづり町

小さくても輝く町

広報

# やまづり

## 読み聞かせに表情が緩み、笑みがこぼれる

肉川小学校にて

11 2011  
月号  
No.608

- 体育祭・幼保小中一貫教育計画・消防団秋季検閲・青少年の主張大会・・・P 2～P 6
- 町の動き・財政公表・財政状況公表・人事行政公表・・・P 7～P 15
- 青少年の主張最優秀賞作品・わが家のイチおし・文化スポーツ団体紹介・・・P 16～P 17
- タウンピックアップ・久慈川資源マップ・手づくり絵本コンクール・他・・・P 18～P 21
- すくすく満1歳・短歌・情報局・・・P 20～P 25
- 議会だより・・・P 26～P 35
- 情報カレンダー・・・P 36

# 第46回矢祭町体育祭 「やまつり祭」

## スポーツの秋を満喫した1日

10月9日町の恒例行事、矢祭町体育祭「やまつり祭」がさわやかな秋晴れのもと、9つの行政区と幼稚園・小学校が参加し開催されました。今年で46回目となる伝統あるスポーツ行事で、区対抗競技や個人競技・オープン競技、そして子どもたちのダンスなどが行われ、会場内はにぎやかな雰囲気にも包まれました。

開会式で、大会長の町長が「東京オリンピックの翌年から始めた体育祭も46回目を迎えた。町民の大同団結のもと、今後も町の象徴として続けていきたい。本日参加された皆さんの熱戦健闘を期待したい」と挨拶。次に多数の来賓を代表し、富永盛彦議長が祝辞を述べ、本多春子審判長が競技上の注意、館本区の小野博選手が力強く選手宣誓を行い、競技がスタートしました。

最初は全員でストレッチ体操を行い、筋肉を伸ばし体調を整えた後、16種目に熱戦を展開し、スポーツの秋を満喫していました。

この日は、矢祭ふるさと会(滑川源夫会長)の10回目となるふるさと訪問バス旅行が行われ、会員20名が会場に訪れ、体育祭を見学したり、宝ひろいに参加したりとふるさとでの行事を楽しみました。



入場行進に花を添えた東館小鼓笛隊



選手宣誓する小野博選手



区対抗玉入れ



ボールが大きいとたいへん



男対女強いのはどっち？



矢祭ふるさと会滑川会長

### <競技結果>

- ◆区対抗紅白玉入れ 優勝 戸塚区 準優勝 関岡区 3位 下石井区
- ◆矢祭ゲートリレー 優勝 山野井金沢区 準優勝 大坂区 3位 下石井区
- ◆それいけキンボール 優勝 戸塚区 準優勝 桃ノ木区 3位 中石井区
- ◆成人男女リレー 優勝 館本区 準優勝 戸塚区 3位 山野井金沢区
- ◆小学校対抗親子リレー 優勝 東館小A 準優勝 東館小B 3位 東館小C
- ◆男VS女強いのはどっち 優勝 山野井金沢区(男) 準優勝 商工会女性部 3位 戸塚、HONEYBEE(女性)



最後は投げ餅ひろい



応援にも熱が入る



みんな走る！



走る・走る・み



# 幼保小中一貫教育施設計画の地域説明会 「教育村」構想を説明し理解を求め



粛々と考えを述べる町長

町は、10月11日～15日までの5日間にわたり、各小学校を会場に地区住民を対象とした、幼保小中一貫教育施設計画についての地域説明会を開催しました。  
11日初日は石井小学校で行われ、議員・PTAをはじめ地区内外からの住民ら60名が出席しました。

説明会は、町長が挨拶をした後、自らが計画を決めた経緯やその目的・内容等を説明しながら、教育施設を一箇所に集中させることで効率のよい、レベルの高い教育が可能なることを粛々と訴えました。その後、教育委員会担当者から施設計画の概要について説明が行われ、質疑に入り、出席者からは、教育村構想や学校統合に関する様々な質問や意見が出され、その都度町長が、一つ一つ考えや思いを述べながら理解を求めました。

## 幼保小中一貫教育施設計画（「地域説明会」資料から）

### 整備計画

現矢祭中学校の校舎、体育館、校庭等を中心に、中学校の北側及び南側に新たに用地を取得し、幼稚園、保育所の一体化施設「子どもセンター」、統合を見据えた小学校を建設し、幼保小中一貫教育の拠点とする。

### ■幼保の一体化

○質の高い幼児教育を保育所、幼稚園の垣根なく、すべての子に提供する。また、支援を必要とするすべての親子の家庭における養育支援を充実させる。

### ■幼小連携

○幼稚園から就学への問題を解消することができる。  
私語が多かったり、歩きまわったりするなど、教科学習、集団生活になじめ

ないという問題について、幼小の先生が情報交換を行える。  
生活科や学校行事等で園児、児童の交流を図ることができる。  
○特別に支援を要する園児等について、適切な就学指導等、長期的な視点で見

### ■小中一貫教育

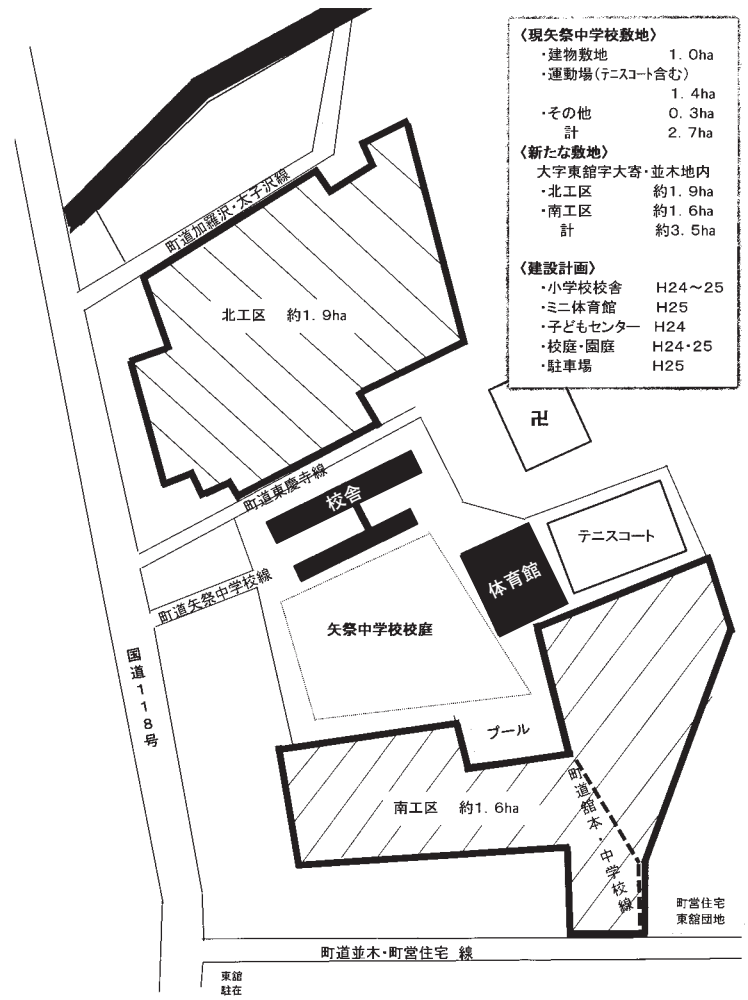
○初等教育から中等教育への接続がしやすくなる。  
不登校減少へつなげることができる。

小中の先生方の交流、打合せ等が容易にでき、9年間を見据えた教育課程で、長期的な視野に立って子どもを育てることができる。

○多くの友達と交流する機会が増え、コミュニケーション能力が高まる。集団

の中で個を育てることができる。  
○施設・設備を共有することが可能になり、合理的である。

## 幼保小中一貫教育施設計画位置図



## 小・中学校児童生徒数・学級数の推移

平成23年4月現在

年度 児童数・ 学級数	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
東館小学校	142	7	135	7	126	6	123	6	119	6	112	6	115	6
下関河内小学校	34	4	33	4	34	4	31	3	34	4	38	4	39	4
関岡小学校	31	3	26	4	25	4	22	3	23	3	21	3	20	3
内川小学校	24	3	18	3	20	3	20	3	21	3	24	4	29	4
石井小学校	83	7	83	7	86	7	84	6	79	6	80	6	79	6
小計	314	24	295	25	291	24	280	21	276	22	275	23	280	23
矢祭中学校	183	10	190	10	172	8	170	7	149	7	148	7	144	6
小計	183	10	190	10	172	8	170	7	149	7	148	7	144	6
合計	497	34	485	35	463	32	450	28	425	29	423	30	424	29



真剣に耳を傾ける参加者

# 崇高な消防魂を培う

## 矢祭町消防団秋季検閲



粛々と訓示を述べる統監

10月16日、平成23年度矢祭町消防団（鈴木桂語団長以下団員326名）秋季検閲が挙行されました。雨のため、町内行進を中止し、会場を中学校体育館に変更して行なわれました。

検閲は、本団役員と全17班、役場消防隊が集合すると、分団ごとに速やかに整列し、開会行事が行われました。出場人員及び車両報告、団旗に敬礼、検閲開始宣言、国旗掲揚、黙祷が行われたのに続き、統監の町長から「消防団の任務は、火を消すことだけでなく予防消防が大きな使命。消防業務の重要性を再認識し、消防精神に徹し訓練に励み、より一層の精進を願う」と訓示を行いました。

終了後、直ちに観閲隊形がとられ、統監・団長・来賓による観閲が行われました。続いて通常点検に入り、整然と並ぶ団員一人一人を黙視しながら、団員への士気高揚を図りました。会場が狭いため中止とし、閉会行事に移りました。

閉会行事では、統監講評と、来賓の樵隆男（県南地方振興局長、富永盛彦議長、渡部紅輝（棚倉警察署長、白河地方広域市町村圏消防本部長代理、緑川貫一（棚倉消防署長、木田弘明（消防協会東白川支部長）それぞれから祝辞が述べられました。最後に、鈴木団長が検閲挙行に対する御礼と、消防団の任務遂行への新たな決意を述べ、検閲を終了しました。

今回、雨天のため町内行進、機械器具点検、各種訓練が中止となりましたが、崇高な消防魂と強い責任感の間違ひなく培われました。



観閲する統監



整然とする団員

# 思いや考え・抱負を堂々と発表

## 青少年の主張矢祭町大会

第27回青少年の主張矢祭町大会が、10月15日ユール矢祭で開催され、多くの町民が会場に訪れ、明日を担う青少年の主張に耳を傾けました。

開会式で、矢祭町青少年育成町民会議会長である町長が主催者挨拶を述べ、来賓の富永盛彦議長から励ましの言葉が送られました。そして来賓・審査員が紹介され、菊池賢一町PTA連合協議会会長の進行により、主張発表が開始されました。小学生、中学生、高校生の代表12名がそれぞれの思いや考え、抱負、夢などを堂々と発表し、

熱心に耳を傾ける聴衆

会場に訪れた多くの聴衆に訴えました。発表が終了すると直ちに審査に入り、その合間には岡小学校・東館小学校・矢祭中学校による合唱が披露され、内容の濃い主張大会となりました。合唱が終わると、鈴木幹男審査委員長から審査結果と講評が伝えられ、最優秀賞に小学生の部では下関河内小学校6年木下陽有さん「ありがとこの気持ち、おばあちゃんへ」、中学校の部では2年藤井瀬里香さん「出会いが人を強くする」、高校の部では白河高校1年鈴木雅恵さん「地震で感じたこと」が選ばれました。

### 優秀賞（敬称略）

古張礼華（関岡小6年）、横田鮎果（石井小6年）、佐川夏希（東館小6年）、金澤美奈（内川小6年）、松山司（矢祭中1年）、青砥瑞季（矢祭中3年）、菊池祐貴（学法石川高校3年）、大串笑伽（大子清流高校1年）、菊池千愛美（修明高校3年）

### 優良賞

鈴木優花（東館小4年）、塚本夙彩（東館小5年）、檜山椋華（下関河内小4年）、近藤葵（下関河内小5年）、金澤雄羽（関岡小4年）、高沢良裕（関岡小5年）、片野亜美（内川小4年）、松本大空（内川小5年）、青砥莉奈（石井小4年）、白石紗也加（石井小5年）



木下陽有さん



藤井瀬里香さん



鈴木雅恵さん



発表者全員で記念撮影

### 乳がん検診を実施 大切なのは早期発見

10月1日・2日の2日間、町山村開発センターで乳がん検診が行われました。乳がんは女性特有のがんで、40〜50歳代の1,000人に1人の割合で発症しています。乳がんで亡くなる方は、福島県では1年間に約160人となっており、早期発見・早期治療が何よりも大切です。

国の指針では、2年に1回の受診をうたっていますが、矢祭町では毎年実施しており、積極的に乳がんの早期発見に努めています。今回の受診者数は、視触診151人、マンモグラフィ検診72人、視触診+マンモグラフィ検診142人で合計365人が受診しました。

検診前には、埼玉厚生病院担当技師から、乳がんの大きさの目安や自己触診の仕方など早期発見の大切さを胸部模型を使って学びました。乳がんは自分で見つけることができる唯一のがんで、異常を感じたら迷わず外科医を受診するように訴えています。



検診指導する担当技師



真剣に話を聞く受診者

- 乳がんになりやすい人は？
- ・血縁者に乳がんになっている人がいる（遺伝）
  - ・未婚
  - ・初潮が早い（11歳未満）閉経が遅い（55歳以降）
  - ・授乳した経験がない
  - ・良性の乳腺疾患になったことがある
  - ・高齢出産の人（出産をしていない人）
  - ・肥満の人（特に閉経後）
  - ・年齢（40歳以上）
  - ・多飲酒習慣がある
  - ・高脂肪・高カロリーな食事が多い

### ふくしま駅伝「矢祭チーム」結団式

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）に出場する矢祭チーム（永山勝範団長の結団式が、10月9日体育祭の開会式前に多数の来賓を迎え、行われました。

初めに、町長が「町代表として、1本のタスキをしっかりとつなぎ、町民の期待を担って力いっぱい早くすように」と期待を込め挨拶、富永議長が激励の言葉を述べました。その後、町長から永山団長へ矢祭チームの団旗を授与し、永山団長が「町の代表として名誉と誇りを胸に、上位入賞を目指して全力で頑張ります」と力強い挨拶を行いました。そして坪功三監督から選手、スタッフ陣が紹介され、結団式を終了しました。



矢祭チームの団旗授与



挨拶する永山団長

◆監督 坪 功三（矢祭振興公社）  
◆スタッフ 芳賀輝夫（役場）、金澤源一郎（自営）、古市比呂子（JA東西しらかわ）、吉川舞（SMC）、片野大輔（SMC）、古張喜勝（SMC）、菊池麻奈未（修明高校1年）、吉村周平（矢祭中）  
◆選手 鈴木 薫（役場）、金子一則（東海病院）、高橋竜一（役場）、菊池孝裕（SMC）、菊池和記（成洋産業）、鈴木修宏（上武大学2年）、増子弘晃（順天堂大学2年）、菊池由衣（神奈川大学1年）、石井章騎（学法石川高3年）、石井仁美（学法石川高3年）、浅見 光（修明高校1年）、金澤秀哲（修明高校1年）、石井寿美（学法石川高1年）、古張雄大（埼玉工業高校1年）、藤田剛志（矢祭中3年）、豊田和希（矢祭中3年）、菊池頭斗（矢祭中2年）、藤井瀬里香（矢祭中2年）、金澤美佳（矢祭中2年）、多川睦美（矢祭中1年）、星優香（矢祭中1年）、鈴木 龍（矢祭中1年）

### 町道の改良を要望〜石田区で陳情

9月30日、石田区（増子幸三郎区長）は、町道石田・上野内線の側溝と舗装整備要望のため、町に陳情書を提出しました。陳情は、紹介議員の鈴木一議員が挨拶し、増子区長が陳情書を読み上げ、町長に手渡しました。

内容は、先の台風15号のように降水量が多いと道路の碎石や土石が流され、通行に支障をきたし、さらに側溝に土石が溜まり排水の役目を果たさなくなることから、U字溝の布設と舗装整備を要望するものです。

陳情を受けた町長は「役場前であり、台風15号の豪雨のこともあるので、出来るだけ早い時期に着工したい」と早期に対応することを約束しました。



陳情を受け挨拶する町長

### 郡司浩子さん県立図書館協議会委員に



10月14日福島県教育委員会定例会で、県立図書館協議会委員10人が選任され、そのうちの一人に矢祭町学校教育支援員の郡司浩子さん（東館）が選ばれました。任期は10月21日から2年間です。郡司さんは、「県民と図書館をつなぐ架け橋になれば」と抱負を語ってくれました。

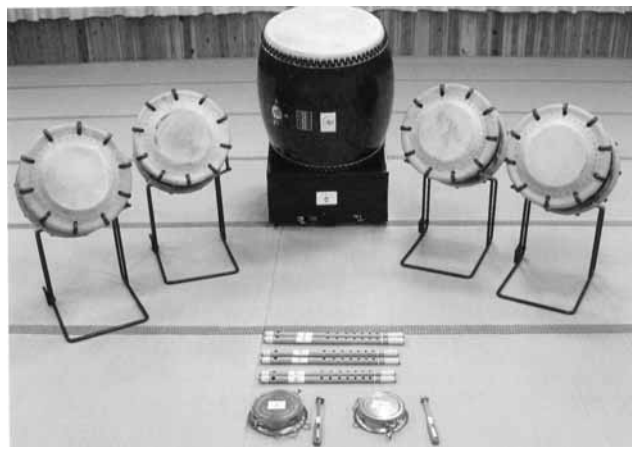
◆大会は、11月20日（日）白河市総合運動公園を午前7時40分にスタートし、ゴールの福島県庁を目指します。テレビやラジオの中継放送がありますので、応援の程よろしくお願ひします。  
ガンバレ矢祭！



紹介される選手

### コミュニティ助成事業 中石井区にお囃子用具を新調

宝くじの普及広報を行う（財）自治総合センターは、文化振興事業やコミュニティ事業を実施するため、コミュニティ組織が行う活動に必要な施設や設備の整備に対して、助成を行っています。今年度中石井区では、この助成事業を活用し、石井神社祭典「権現様」の豊年踊りで使われる大太鼓・小太鼓をはじめ笛・かね鉦などのお囃子用具やテント・保管庫を新調しました。豊年踊り用具一式が新調されたことで、地域の伝統文化がさらに盛り上がり、地域住民のふれあいの場が広がりました。



新調したお囃子用具一式

安心・安全な地域社会実現のために

防犯協会各支部で防犯パレード

「みんなでつくる安心の街」をメインスローガンに、全国地域安全運動（10月11日～20日）が実施され、矢祭町防犯協会各支部で恒例の防犯パレードが行われました。矢祭支部（緑川裕之支部長）は、10月10日午後から旧高城地区管内と高山地区を、矢祭駐在所パトカーを先導に消防車両5台で広報パレードを行い、自主防犯を呼びかけながら、意識の高揚に努めました。石井支部（菊池健治支部長）は、12日午後から石井小学校鼓笛隊とともに、戸塚から中石井までの管内をパレードし、沿道の住民へ地域安全を呼びかけました。また、東館支部（鈴木桂語支部長）は、18日午後1時から下関河内小学校鼓笛隊とともに、下関河内から大垣までの三関地区をパレード、3時からは東館小学校鼓笛隊とともに矢祭中学校前から東館小学校までの国道をパレードし、沿道の住民に自主防犯を呼びかけました。地域社会の実現を推進する運動です。



矢祭支部の車両パレード



石井小鼓笛隊



東館小鼓笛隊



三関地区パレード

10月17日・18日の2日間、平成23年度高齢者町長慰問が行われ、担当民生委員・社会福祉協議会職員とともに一軒一軒を訪問しながら、高齢者を元気づけました。現在、町内には75歳以上の一人暮らし高齢者が80名、寝たきり高齢者が6名、90歳以上高齢者が88名おり、このうち79軒のお宅を訪問し、慰問品を手渡しました。

町長 高齢者を元気づけ



金澤みゑさん(中石井字館谷)

79軒のお宅を訪問

平成23年度一般会計上半期 財政公表



平成23年4月1日から9月末日までの一般会計補正予算の主なものを掲載しました。

- 補正予算第1号（4月専決） 補正予算額 5,701千円
東日本大震災に関連する補正で、地震により被災した農地・農道等、町道、学校等の災害復旧費などです。
補正予算第2号（5月臨時議会） 補正予算額 187,899千円
原発事故の風評被害によるユール矢祭への管理委託料18,000千円、中石井・前平遺跡発掘調査費14,800千円、スインピア矢祭屋内プール修繕費63,700千円、東日本大震災に関連する災害復旧費64,512千円などです。
補正予算第3号（6月定例議会） 補正予算額 52,712千円
身体障がい者更生医療費給付事業費(人工透析経費補助)6,152千円、高齢者生きがいサロン設置事業費4,802千円、森林整備地域活動支援交付金(整備計画策定支援)事業費5,120千円、子どもセンター造成工事費14,000千円などです。
補正予算第4号（7月専決） 補正予算額 3,226千円
東日本大震災及び原発事故に関連する補正で、放射性物質測定器購入費2,892千円、地震により被災した住宅再建支援事業補助金5,000千円などで、財源不足は予備費を充当しました。
補正予算第5号（8月専決） 補正予算額 23,984千円
原発事故に関連する補正で、放射線量を測定するための機器(バッジ式・電子式・サーベイメーター)の導入経費を計上しました。
補正予算第6号（9月定例議会） 補正予算額 261,819千円
繰越金の2分の1以上を基金に積み立てることが義務付けられているため、70,000千円を財政調整積立金に計上しました。
0歳から15歳までの幼児・児童・生徒を同敷地内の一貫した環境で教育するため、基本設計費・敷地測量設計費28,000千円、土地購入費90,000千円を計上しました。
補正予算第7号（9月専決） 補正予算額 160,783千円
台風15号による災害に関連する補正で、大雨により被災した農地・農道等、町道、河川等の災害復旧費などを計上しました。

22年度 健全化判断比率等のお知らせ

「財政の健全化に関する法律」に基づき、公表が義務付けられた矢祭町の財政指標は下記のとおりです。

Table with 4 columns: 指標名, 矢祭町の比率 (平成22年度, 平成21年度), 早期健全化基準 (イエローカード), 財政再生基準 (レッドカード). Rows include 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率.

注：実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は「-」が記載されます。

資金不足比率（公営企業会計）

Table with 3 columns: 会計名, 矢祭町の比率 (平成22年度, 平成21年度), 経営健全化基準. Rows include 水道事業特別会計, 農業集落排水処理事業特別会計, 工場団地造成事業特別会計, 宅地造成事業特別会計.

注：資金に不足がない場合は「-」が記載されます。

\* 本町の各指標はいずれも国の基準を大きく下回っております。また、平成22年度指標は21年度指標から更に改善されておりますので、財政状況は健全に運営されているものと判断できます。

# 町の財政(一般会計)を年収360万円 (月収30万円)の家庭の家計簿に置き換えてみると...



支 出		収 入			
義務的経費	食費等の生活費 (人件費)	35,663円 (11.9%)	給料 (町民税、使用料など)	47,509円 (15.8%)	自主財源
	医療費・学費 (扶助費)	17,054円 (5.7%)	貯金の取崩し (繰入金)	2,210円 (0.7%)	
	ローン返済 (公債費)	29,361円 (9.8%)	前年度から持っていたお金 (繰越金)	11,532円 (3.9%)	
投資的経費	家や車庫の建築 (建設事業費)	94,755円 (31.6%)	貯金利子など (雑入等)	5,417円 (1.8%)	依存財源
その他の経費	光熱水費・通信費 (物件費)	31,625円 (10.5%)	親などからの援助 (地方交付税、国県補助金など)	192,169円 (64.1%)	
	町内会費、寄附金 (補助費等)	21,816円 (7.3%)	住宅ローン借入 (町債)	41,163円 (13.7%)	
	家や車の補修費 (維持補修費、災害復旧費)	1,708円 (0.5%)	※イメージしやすいように町の経費を置き換えています。参考としてご覧ください。(金額下の( )書は構成比)		
	子どもへの仕送り (繰出金)	21,554円 (7.2%)			
貯金など (積立金、貸付金)	46,464円 (15.5%)				
支出合計		300,000円 (100.0%)	収入合計		300,000円 (100.0%)

## 平成22年度特別会計決算

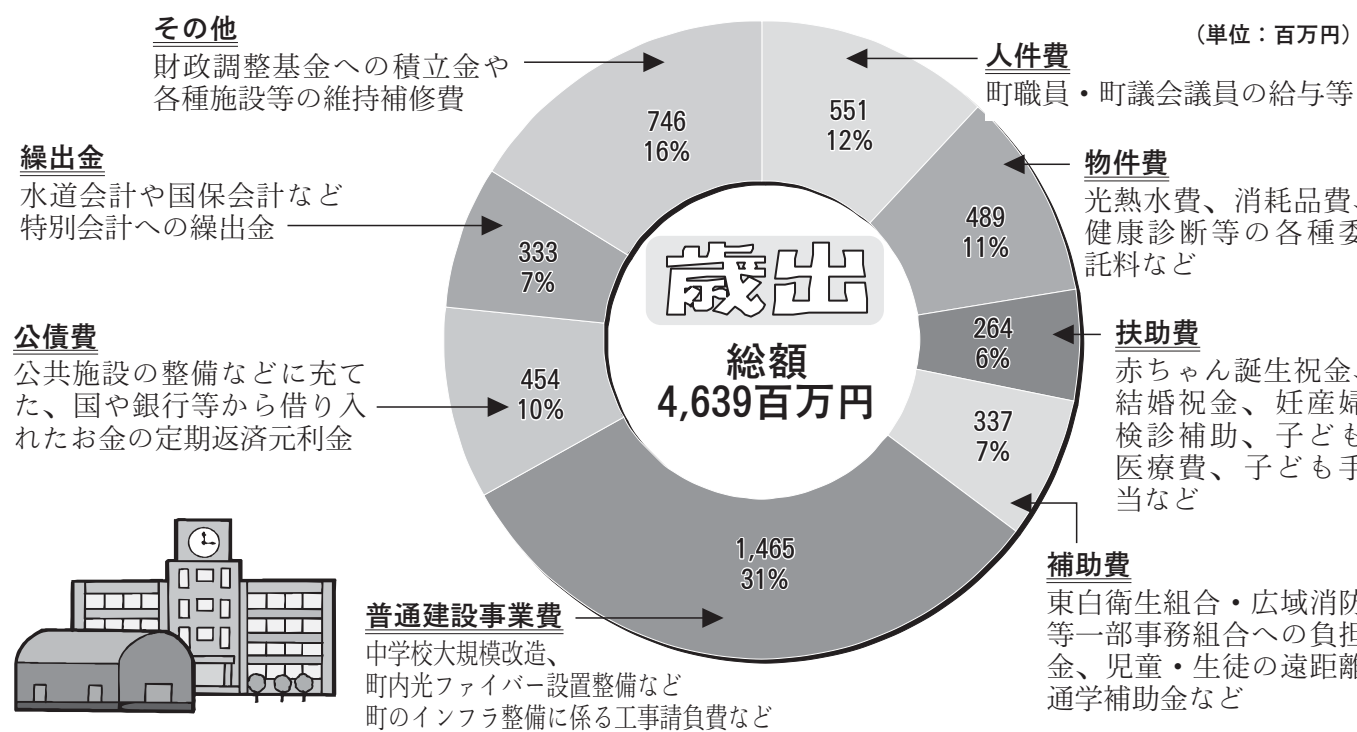
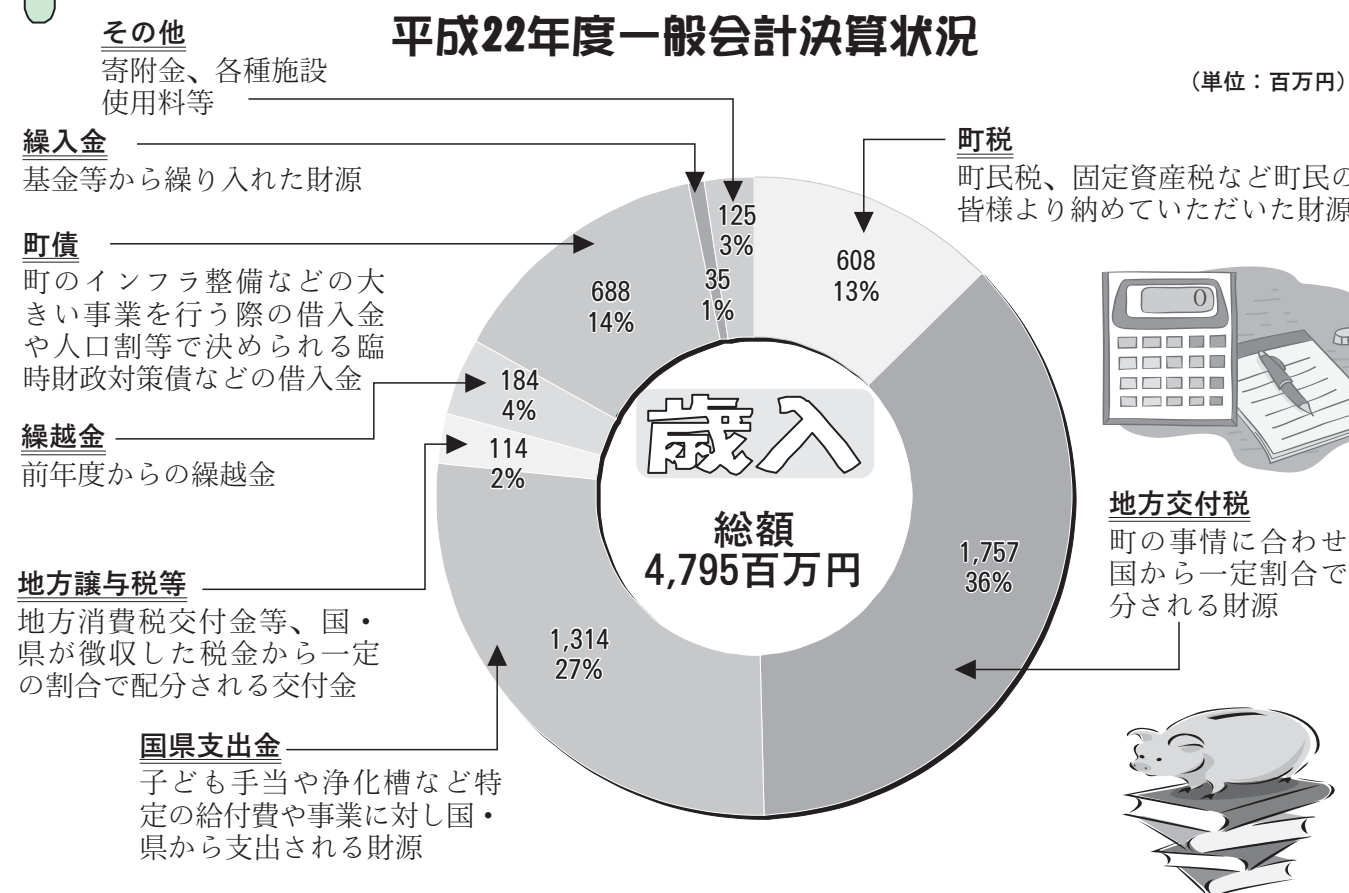
～皆さんの生活に直結した事業を9つの特別会計で行っています。～

単位：千円

会計名	歳入	歳出	事業内容
国民健康保険特別会計	801,634	727,986	国保世帯数：1,045世帯 被保険者数：2,046人
水道事業特別会計	164,152	154,240	給水件数：1,934件/給水人口：5,727人 給水普及率：89.5%
老人保健特別会計	1,527	1,527	平成22年度で会計廃止。後期高齢者医療保険へ完全移行。
工場団地造成事業特別会計	10,451	1,788	矢祭町第三工業団地につながる町道の法面草刈り等の実施
宅地造成事業特別会計	5,037	906	総区画数：274区画 分譲済区画数：233区画
農業集落排水処理事業特別会計	31,233	28,539	排水人口：563人 排水区域面積：570k㎡
介護保険特別会計	516,312	485,275	要介護認定者数：303人 在宅介護サービス利用者数：1,447人/12ヶ月 施設介護サービス利用者数：807人/12ヶ月
後期高齢者医療保険特別会計	120,798	120,686	被保険者数：1,304名
霊園事業特別会計	3,917	3,743	総区画数：41区画 貸出中区画数：14区画

## 矢祭町財政状況公表

町の財政状況を知っていただくために毎年5月と11月に広報にて公表しております。今回は平成22年度一般会計決算と平成23年度上半期財政状況及び健全化判断比率についてお知らせいたします。



# 町人事行政の運営等の状況を公表します！

「地方公務員法」及び「矢祭町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数・給与・勤務条件・定員管理などについて、お知らせします。

## ◎職員の給与の状況

[人件費の状況(普通会計決算)]※人件費には、特別職に支給される給料・報酬等が含まれています。

区分	住民基本台帳人口 (平成22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成21年度の人件費率
年度 22	H23.3.31現在 6,549人	千円 4,626,379	千円 133,702	千円 541,006	% 11.7	% 16.4

[職員給与費の状況(普通会計予算)]

区分	職員数 A	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	1人当たり給与費 B/A	(参考)平成22年度の 平均1人当たり給与費
年度 23	人 51	千円 235,826	千円 29,201	千円 83,978	千円 349,005	千円 6,843	千円 6,761

[職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成23年4月1日現在)]

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	46.72歳	359,180円	417,536円

[職員の初任給の状況(平成23年4月1日現在)]

区分	矢祭町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	175,100円	188,900円	172,200円	185,800円
	高校卒	142,500円	152,400円	140,100円	149,800円
技能労務職	高校卒	153,000円	166,200円	—円	—円
	中学卒	129,600円	137,600円	—円	—円

[一般行政職の級別職員数の状況(平成23年4月1日現在)]

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事・保育士・教諭	5人	8.6%
2級	主任主事・保健師・保育士・教諭	3	5.2
3級	主査・主任保健師・主任保育士・主任教諭	7	12.1
4級	主任主査・主任保健師・主任保育士・主任教諭	11	19.0
5級	主幹・局長・所長・園長	26	44.8
6級	課長・会計管理者・局長・所長	6	10.3

[期末手当・勤勉手当(平成22年度)]

(平成22年度支給割合)					
期末手当			勤勉手当		
6月	1.25月	2.55月	6月	0.70月	1.35月
12月	1.30月		12月	0.65月	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15%					

[特別職の報酬等の状況(平成23年4月1日現在)]

区分	給料月額等
給料	町長 523,000円
	副町長 523,000円
	教育長 523,000円
報酬	議長 日額 30,000円
	副議長 日額 30,000円
	議員 日額 30,000円
手期末	議長 議長 (平成22年度支給割合) 副町長 副議長 6月期1.45月 教育長 議員 12月期1.45月 2.90月分 ※平成20年度から町議会議員 期末手当支給なし

## ◎職員の研修の状況(平成22年度)

区分	受講者数
ふくしま自治研修センターの研修	13人
その他の研修	0人
計	13人

## ◎職員の福祉の状況

職員の安全を確保し、健康の保持推進を図るため、定期健診(生活習慣病検診・乳がん検診・子宮がん検診)人間ドック等検診及び毎月町保健師による血圧測定及び健康指導を実施しています。

## ◎職員の任免及び職員数に関する状況

[職員数の状況]

□部門別職員数の状況と主な増減理由(平成23年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		平成22年	平成23年		
一般行政部門	議会	1	1	0	
	総務	15	15	0	
	税務	3	3	0	
	民生	9	9	0	
	衛生	3	3	0	
	農林水産	6	5	▲1	配置替のため
	商工	1	2	1	配置替のため
	土木	3	3	0	
	小計	41	41	0	
	特別行政部門	教育	10	10	0
小計	10	10	0		
公営企業等 会計部門	水道	3	3	0	
	下水道	0	0	0	
	その他	5	5	0	
	小計	8	8	0	
合計		59	59	0	
		[ 74 ]	[ 74 ]	[ 0 ]	

(注)1 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者・派遣職員などを含み臨時又は非常勤の職員は除いています。  
2 [ ]内は、条例定数の合計である。

[定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要]

部門	区分	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
一般行政	職員数	69	68	67	58	51	51	51
	職員数	9	8	8	8	8	8	8
公営企業等会計	職員数	78	76	75	66	59	59	59

## ◎職員の分限及び懲戒処分の状況(平成22年度)

分限処分			懲戒処分			
休職	降任	免職	戒告	減給	停職	免職
—	—	—	—	—	—	—

## ◎職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

[職員の勤務時間の状況]

1週間の勤務時間	38時間45分
執務時間	午前8時30分~午後5時15分まで
休憩時間	正午~午後1時
勤務条件の状況	指定された課のみ、下記の窓口交代勤務有
	朝 午前7時30分~午前8時30分
	昼 正午~午後1時
	夕 午後5時15分~午後6時45分



## 「障がい」から新たな世の中を考える

下関河内小学校 六年 木下 陽有

「障がいをもっている人」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか。目が見えない人や耳の聞こえない人、手足が不自由な人、脳の発達に障がいがある人などを思い浮かべるでしょうか。私は障がいをもっているからといって、何もできないわけではないと考えます。そして、障がいのある人となんかどう関わるかで、そこに温かい笑顔が生まれ、共によりよく生きる方法が見えてくると思うのです。

私はある体験をするまで、「障がい」という言葉に対して、「大変だろうな。いつも一人ぼっちで暗いのかな」というようなイメージを持っていました。

そういった「障がい」に対する私のイメージを変えさせる出来事がありました。それは、昨年五年生の総合的な学習の時間に、「共に生きる」というテーマで、障がいをもっている方との交流を行ったことでした。私たちが普段生活している中で、「福祉」という言葉をよく聞きますが、一言に「福祉」と言っても一体それはどういうものなのか、といった思いを持ったことが学習のきっかけでした。活動のスタートとして訪ねたのが私たちの小学校の隣にある、自立支援センター「レスポアール矢祭」でした。もとは幼稚園だった施設で、私もその幼稚園を卒業しましたが、レスポアール矢祭になってからは中に入ったことがありませんでした。自立支援センターという施設に関しても、職員である谷田部芳恵さんから、「障がいをもっている人が物を作る活動をしています。そして、その作った物は商品として売られます。」という説明を聞くまではよく知らなかったのです。

交流の当日、障がいに対するイメージもあり、私は緊張していました。しかし、そこで見たものは、私の想像していたとは全く違っていました。最初に見たのは、料理で使った油を吸い取る商品を作る作業でした。細かく切ったガーゼを正方形に切った布にきれいに包み、ひもで縛るというものでした。私はその作業の細かさや正確さにとても驚きました。中に入られるガーゼは布に包む前に正確に計ります。出来上がった物を見てみると、一つ一つの大きさがどれも同じで、仕上がりがとてもきれいでした。私も

その作業をさせていただきましたが、出来上がった大きさはバラバラで、とても商品になる物ではありませんでした。

また、男の人たちが行う作業にも大変驚きました。工具を使って自動車のエンジンの部分となる機械を作っていたのです。精密機械を障がいを持っている方が作っているなんて、想像したこともありませんでした。こんな形で私たちの生活が支えられていることを、心から「かっこいい」と思いました。どの方たちも明るく楽しそうに働く姿がありました。

そして、まるで家族のように笑顔で一緒に作業する職員の方たちの姿も、私の「障がい」に対するイメージを変えました。障がいをもっている人に出会ったら、自分から声をかけられるだろうか。なんの迷いもなく助けられるだろうか。私は、きっと声をかけたたくも出来ないだろう、今までそう思っていました。しかし職員の谷田部さんから、「障がいをもっている人を見かけたら気軽に声をかけてほしい。そして、もし困っていたら助けたい。障がいをもっている人も、みんなと同じ気持ちをもっているのだから」という言葉がありました。

「みんなと同じ気持ち」私は、この言葉にハッとさせられました。障がいがある無し関係なく、みんな感じること一緒だということだからです。それは、お互いを思いやり、尊重し合うこと。そこから生まれる信頼関係が、職員のみならず活動・作業する人の間にはあり、それが施設内の明るさを作っているのだと強く感じました。

世界中には、様々な障がいをもっている人たちがいます。私は、今回の交流を通して、ほんの一部かも知れませんが、障がいをもっている自分の夢や希望をあきらめずに楽しく堂々と生きていく姿を学びました。そして、最終的にたどり着いたのは、障がいのある人となんか、お互いを尊重し合い、気持ちよく生活することができる世の中を、一人一人が意識して作っていかなくてはならないのではないかとということです。もちろん、誰もが生活しやすくしようとするといった「ユニバーサルデザイン」の考えも出てきていますが、私は、それ以上に一人一人が自分から、その気持ちを発信していくことが大切ではないかと思うのです。障がいをもっている人からといって決して何もできないわけではないのではなく、障がいのある人となんか世の中になれば、だれでもが幸せになれると、私は思います。

### 「家読でコミュニケーション」

## わが家のイチおし この一冊

— 矢祭もったいない図書館所蔵本から —

### サルくんとブタさん

作・絵 たどころ みなみ  
出版社 汐文社

この作品は、まず絵を見て愛らしいなと思ひ手にしました。内容は、耳の聞こえないブタさんがある時海に出かけるとサル君と出会いました。そこで、普段、私たちが聞こえる音を文字にしてあげるとブタさんが初めて音を知ることになります。そんな何気ないことに感動し、子どもたちに困っている人にはやさしくしてほしいなと思ひながら読みました。しかし、ある時からサル君が姿を見せなくなり、子どもたちと「何故なのかな」と考えさせられました。わが家のイチおしは、可愛らしさと感動が得られるこの一冊です。

### ウォーリーをさがせ!

作・絵 マーティン ハンドフォード  
出版社 フレーベル館

この絵本は、赤白しましまの服・青のスボン・黒ブチメガネをかけた主人公「ウォーリー」を見つけて遊ぶ絵本です。いろいろな場面があり、難しいときもありますが、何度も繰り返し読むうちに違う見方の出来る楽しさもあります。何と言っても見つけた時の感動はすばらしいです。その時の子どもの顔は輝いているので、親としても好きな本です。ぜひ一緒に楽しんで下さい。



矢祭もったいない図書館利用者  
佐川 久美子さん  
舞 ちゃん  
のり 徳 寿くん



矢祭もったいない図書館利用者  
沼端 由佳理さん  
りさ かつき 理紗ちゃん・健希くん・怜良ちゃん  
はるみ しいな 夢陽ちゃん・紫菜ちゃん

## やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー⑩

### 下石井体育協会

- ◇代表者 永山貴章 会員数24名
- ◇設立年月日 不明
- ◇団体紹介

下石井体育協会は、現在、野球部・ソフトボール部を中心に各種大会への参加が主な活動です。特にソフトボール大会では一目おかれるチームです。私たちはスポーツを通して、会員相互の親睦と技術の向上を目指し、和気あいあいと楽しく、時には厳しく活動が続けていきます。オフシーズンもメタボ防止のため活動していきたいと思ひます。

### 祥風書院

- ◇代表者 佐川典子 会員数26名
- ◇平成3年10月設立
- ◇団体紹介

退職した年の10月から毛筆の指導を始めました、若草会の会誌を手本にして毎月競書を提出しています。これまでに最優秀賞33名、特待生を取得した者23名です。決して多くはない数ですが、「継続は力なり」をモットーに月3回会員は真剣に書いています。町の文化祭にも毎年欠かさず出品し研修に努めています。現在会員は26名、小中学生が中心です。書は精神統一・日本の伝統文化の一つとして継承していきたいと思ひます。



「ささえようみんなの未来」地方税 11月11日から17日までは「税を考える週間」です。

## テレビ会議システムを用いた授業の実践

10月14日、矢祭町・鮫川村両教育委員会主催による中山間地域連携事業の研究公開が、内川小学校・下関河内小学校・鮫川村立青野小学校で行われ、教職員をはじめ教育関係者ら165名が参加しました。

この事業は、中山間地域における学習環境の整備と学習機会の拡充を図ることを目的に、「テレビ会議システムを活用した授業の展開」を研究主題に、平成21年度福島県教育委員会から研究指定を受け、矢祭町の5つの小学校と鮫川村の2つの小学校がテレビ会議システムを利用した授業実践に取り組んできたものです。この日の午前中、内川小学校と青生野小学校の5・6年生がテレビ会議システムを用い、外国語の交流授業を行いました。また、その後、下関河内小と内川小が同システムを用いた3・4年生が算数科授業を公開しました。関係者は、児童たちが画面を通じて楽しく学習するようすを参観しながら、将来の学びの環境と人間関係のあり方を研修していました。

## 中山間地域連携事業の研究公開



外国語活動の授業の様子



算数科の授業の様子

## 遠く山口県から読み聞かせに来町

10月18日、内川小学校に遠路遙々、山口県長門市から読み聞かせボランティア「長門市市民会議」メンバー3名が訪れ、全校児童24名を前に読み聞かせと紙芝居を上演しました。今回訪れたのは、福島第1原発事故による放射線汚染を心配し、内川小にみずぶさんの詩集が届けられ、そのお礼の手紙を出したことがきっかけとなりました。市民会議では、震災で傷ついた子どもたちの心を癒し、詩のよさを味わってもらおうと実施したもので、長門市は童謡詩人金子みすぶの出身地で、金子みすぶの作品を感情を込めながら、次々に読み始めると、子どもたちの表情も緩み、笑顔がこぼれました。

## 子どもたちの心を癒す

いさ

そして、読み聞かせが終ると、1・2年生が「こだまでしょうか」3・4年生が「私と小鳥とすずめ」5・6年生が「美しい町」を大きな声で暗唱、全児童で「星とたんぽぽ」を群読し、感謝の気持ちを表しました。長門市は、前市長が10月10日に他界し生前、市民に「被災地へは義援金や物資ではなく、心の支援を」と強く訴えていたとのことで、今回実現した理由にもなりました。



熱心に聞く子どもたち



読み聞かせの様子



笑いを誘うコミカルな演技

てもらおうと特設舞台が設けられ、イソップ物語シリーズが次々に上演されました。アフリカの打楽器を使いながら、団員がコミカルに演じる演技に生徒たちの笑顔がこぼれ、目と耳、心は舞台に釘づけとなり、また、迫力ある演技は床の振動からも伝わり、芸術の秋を満喫した1日となりました。



釘づけとなる生徒

## 矢祭中学校でミュージカル劇を鑑賞

次代を担う子どもたちの文化芸術体験事業として、10月14日矢祭中学校体育館で演劇集団「遊芸社」によるミュージカル劇「イソップブランドの動物たち」が上演されました。会場となった体育館には、生徒たちにより近い場所での迫力ある生の劇を見



やさしく語りかける朝子さん

お手紙「大切なあなたへ」の番組や、元テレビ朝日で放送されていた「題名のない音楽会」にも出演していました。今回は、同行したバレリーナの松本麻希さんのバレエを見ながらのコンサートとなりました。会場の体育館内には、ハープ、バイオリン、ピアノの演奏とともに朝子さんの歌声が広がり、子どもたちも保護者・先生も目の前の心のこもったライブ演奏に静かに聞き入っていました。

## 石井小学校教育講演会

10月7日、石井小学校（高崎康行校長）の授業参観とPTA教育講演会が開催され、福島市の長谷川ファミリーによる「ほのぼのコンサート」が行われました。長谷川ファミリーは母親の長谷川朝子さん・長女千鶴さん・次女弘樹さん親子3人で東北、関東地方を中心に演奏活動をしており、また朝子さんは、ラジオ福島「はせがわとも子の音楽



聴衆を魅了した生演奏

## 長谷川ファミリー「ほのぼのコンサート」

# 久慈川源流域資源マップ～矢祭町編が完成

このほど久慈川源流域に位置する東白川郡4町村の地域活性化の一環として、「久慈川源流域資源マップ作成検討会」で作成した資源マップが完成しました。

その中に矢祭町編で紹介されている伝説や言い伝えが6つあります。これらは目に見えないものや人の歴史・暮らしを伝える貴重な財産であり、これらの大切な資源を後世に伝え残すことが私たちの努めでもあります。

## 矢祭町編で紹介されている伝説や言い伝え

### その1 矢祭の由来 (内川)

平安中期の1054年(天喜2年)、源義家が奥州十二年戦争の凱旋の途中で、矢祭山に立ち寄った際、その美しさに感嘆し、背負っていた弓矢を岩窟に納めて戦勝の報告と、武運の長久を祈ったことが矢祭の由来とされている。

### その2 佳老山の一番鐘 (下関河内)

一番鐘をつこうと男が佳老山に登ったものの、山頂間近で何者かに鐘をつかれてしまった。翌年、男は真夜中に登り始め、山頂にたどり着いたところ、目の前に現れた天狗のような怪人に睨みつけられ、あっという間に山頂から転げ落ちてしまった。以来、一番鐘はつくものではないと言われている。

### その3 はなどり地蔵 (下石井)

信心深い百姓が1人で田を耕していると、小僧が現れて、馬の鼻とりを手伝ってくれた。いつもお祈りしているお地蔵様を見ると、足には泥が、口にはネギが付いており、小僧にそっくりだったのでお地蔵様が助けてくれたと言われている。

### その4 舟ヶ沢の伝説 (下石井)

下石井字宮内と石畑に舟ヶ沢という小川があった。大昔、下石井の人たちは、舟ヶ沢を登って山の頂上に舟見に行き、いつの間にか、舟見が沢が舟ヶ沢になったと言われている。

### その5 大だらぼっちの大男伝説 (宝坂)

大男、大だらぼっちが久慈川で顔を洗おうとしていたとき、そこには石が多くあったので、拾い上げて石を捨ててから顔を洗うことにした。宝坂には、大沼・小沼とデェドンポーの足跡という地名が残っている。

### その6 餓鬼童山の言い伝え (宝坂)

昔、生活が苦しいために生まれた子どもを育てることができなくなることがあった。悩んだ挙句、子どもを山に捨てることにしたという。その山を餓鬼童山と呼び、今でもその言い伝えが残っている。このほかマップには、矢祭町の魅力ある名所・旧跡・祭礼などが写真入りで紹介されています。インターネットで「久慈川源流域資源マップ」を検索すると閲覧と印刷ができます。

# 読書のまちづくりの芽が成長 手づくり絵本コンクール最終審査会

10月22日第3回矢祭町「もったいない図書館」手づくり絵本コンクール最終審査会が、ユーパル矢祭で開催されました。

審査は、選考委員のノンフィクション作家柳田国男先生、絵本作家あべ弘士先生、町長3名により行われました。1次審査を通過した一般の部20点、家族の部21点1冊1冊を選考基準に基づき、厳正な審査が行われました。

その結果、最優秀賞に一般の部で、滋賀県の佐々木香織さんの作品「かげねこ」、家族の部で埼玉県の高垣美和子さん・元さんの「つながるつながる」が決定いたしました。このコンクールも回を重ねるごとに、選考委員を悩ませるほどのレベルの高い作品の応募が多くなり、読書のまちづくりの芽が大きく成長してきました。(敬称略)



審査にあたる選考委員

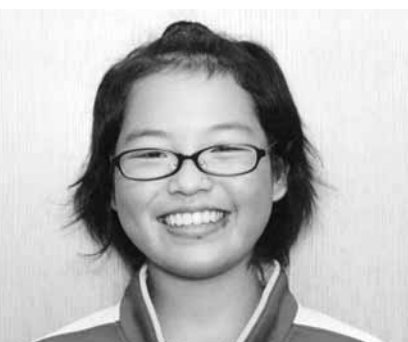


一般の部最優秀賞



家族の部最優秀賞

- ◆最優秀賞 高垣美和子・元(埼玉県)
- ◆優秀賞 関澤美苗・一真・矢真土(神奈川)
- ◆佳作 中村奈巳・匠(佐賀)
- ◆入賞 松田芳樹・伊藤淳子・藤井友美・鈴木亜佑美・下重淳子(東館)
- ◆特別賞 青木実(東京都)
- ◆佳作 高橋信子(千葉)
- ◆佳作 星野英(千葉)



白石紗也加さん

「見えませうか」  
「小さな僕の手」  
がジュニア川柳賞に輝きました。白石さんは昨年引き続きの入賞で、「川柳づくりが楽しい」と笑顔で答えてくれました。

## ジュニア川柳賞に輝く

◆今後の予定  
11月8日(火) チャイルドコース 10時30分～11時  
赤ちゃんコース 11時～11時30分



わが子とのふれあい

## 「親子で楽しむリトミック」

参加者からの声  
カンガルーくらぶのリトミック教室に参加しました。キーボードの音に合わせて、お家の人と手をつないで歩いたり、スキップしたり、つま先やかかとで歩いたりしました。時には、たたみにゴロンと寝転んで、リラックしながらふれあいの時間を楽しみました。  
また、ふわふわのスカーフを使った遊びでは、「うわーすごい!」「お花が咲いた!」と歓声があがっていました。  
カンガルーくらぶでは、この他にもいろいろな行事を実施していますので、ぜひ遊びに来てください。



今月の「はつらつ健康」はお休みします。

すくすく  
すくすく  
満1歳

お誕生日おめでとう!!

すずき ゆうま  
鈴木 優真くん

(11月3日生まれ・茗荷)

いつも元気100ばい優真君!! お誕生日おめでとう!! (パパ・ママより)



### 県短歌祭で県知事賞に輝く

県知事賞作品

洗い立ての地下足袋の

こはぜきつく掛け露に濡れつつ畦の草刈る」

10月2日、福島市で県芸術祭主催行事の第59回福島県短歌祭が開かれ、応募総数321首の中から最高賞の県知事賞に、下石井字宮内の深谷絹子さん(81歳)の作品が選ばれました。同じく福島県歌人会賞には、下関河内字宮脇の片野税子さんの作品「南海に母葬りて引揚し従弟は津波にいま還らず」が選ばれました。

深谷さんは、昭和61年に矢祭短歌会に入会。それから月1回の会に出席しながら腕をあげ、今では生きがいとなっています。本人も「連絡をもらってびっくりした。本当なのか事務局に確認したら、間違いなかった。短歌を詠むようになったのは、亡き義父雅樂さんの影響からかな」と笑顔で話してくれました。



県知事賞を受賞した深谷さん

### 短歌

矢祭町短歌会九月詠草

原発の風評被害気にせぬといいつつ先ず見る産地の名前

藤田 啓子

努力実り琴奨菊は小柄ながら横綱押し出し軍配あげぬ

佐藤ミサ子

遠雷のひびく夕べを月下美人開かんと白き花びら見える

菊地 知子

里芋の葉露の玉水こぼしつつ朝草ひきし手の泥落とす

深谷 絹子

収束の見えぬ原発の線量値計りて今日もノートに記す

佐川 典子

夕焼けに赤く染まれる西山を仰ぎつつ早めの迎え火を焚く

佐川 文江

止むともなき秋雨のなか嫁時きし白菜はポットに日育ちゆく

金澤 京子

街の子は里の遊びにすぐ馴み手拭い首にトウキビかじる

片野 税子

阿寒湖をめざして走る車窓より遠くはるかな富士の嶺望む

星 初枝

いつくしみ育みてきし男の孫の結納いよいよ今日となりたり

藤田 君江

診察を待ちいる友と戦時下の兵器造りを久々に語る

松本 精次

一本の杖を頼りに過ごす日々心の杖もあればと思う

高沢 寿雄

### NEWS & INFORMATION

## 行事 & お知らせ 情報局

### 子ども手当申請のお願い

平成23年10月より子ども手当制度が以下のように変わりました。

◆手当月額(平成23年10月分から平成24年3月分まで)  
・0歳〜3歳未満 15,000円(一律)

・3歳〜小学校修了前 10,000円(第3子以降は15,000円)

・中学生 10,000円(一律)

◆手当は、10月〜1月分は平成24年2月に、2月〜3月分は平成24年6月に支給します。

◆子ども手当を既に受け取っている方も申請が必要です。

平成23年10月1日時点で、支給要件に該当するすべての方に申請書を送付しました。内容を確認の上、お早

めに申請してください。平成24年2月に手当を受け取るためには、平成23年11月30日までに申請してください。

申請の最終期限は、平成24年3月31日となっています。これを過ぎますと10月分からの手当は受け取れませんので、ご注意ください。

◆以下の方は、速やかに申請してください。

・10月以降に他の市町村に転居した方

◆10月以降にお子さんが生まれた方

町民福祉課・福祉グループ  
TEL 4614573

### 第7回「こころんチャリティーアート展のお知らせ」

第7回「こころんチャリティーアート展」が、泉崎村の生活支援センター「こころん」で開催されます。

カラーセラピー・絵画教室の利用者が仕上げた作品が展示・販売されます。入場無料ですので、お誘い合せの上、ぜひご覧ください。

### 日時

11月26日(土) 午前10時〜午後5時  
11月27日(日) 午前10時〜午後4時

◆内容 作品展示・即売会・各種コーナー・交流会(参加費1,000円)

◆会場 社会福祉法人「こころん」  
TEL 02481541115

### 行政書士無料相談会のご案内

福島県行政書士会県南支部では、町民皆様の身近な相談相手として、また街の法律家として暮らしに役立ちたいと願う行政書士無料相談会を開催いたします。ぜひご利用ください。

◆日時 11月27日(日) 午前10時〜午後3時

◆場所 塙第1コミュニティ消防センター(塙町大字塙字代官町54)

### 相談内容

相続、遺言、成年後見人について、農地転用などの許認可手続きについて、その他どこへ相談していいかわからないことなど

◆連絡先 福島県行政書士会県南支部事務局 TEL 2611927

### 東北地区国立大学法人等職員業務説明会

一)の説明会は、今後就職活動を行う皆様国立大学法人等職員の仕事内容やその魅力を知っていただくための広報活動の一環として開催します。なお、参加の有無が今後の採用選考のプロセスに影響するものではありません。

◆プログラム

①国立大学法人等職員の業務内容についての全体説明

②各国立大学法人等による個別説明会

◆日時 11月12日(土) 10時〜16時

◆場所 東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」 仙台市青葉区川内40

◆お問い合わせ 東北地区国立大学法人等職員採用試験事務局  
TEL 022-217-5676

Eメール shaken@bureau.tohoku.ac.jp

ドライバーの皆さんへ  
PM4ライトオン運動展開中

11月1日から2月28日までの4ヶ月間、夕暮れ時の午後4時に車のライトを点灯する「PM4ライトオン運動」を展開します。

暗くなくても、周囲の車や歩行者などに自分の存在を早く知らせることができ、交通事故防止にたいへん有効です。ライトはこまめに切り替えましょう。

夜間は、上向きライトを積極的に使い、早期に歩行者や自転車を見出し交通事故を防御しましょう。対向車が来たら、ライトを下向きに切り替えてお互いに安全運転に努めましょう。

## 陸上自衛隊高等工科学校 生徒募集のお知らせ

15歳から17歳未満の男子が対象の採用試験です。入校と同時に特別職国家公務員になり通信制の高等学校教育を受けながら、将来、自衛隊の技術陸曹を養成する制度です。

### 一般採用試験

◆受付期間 平成23年11月1日(火)～平成24年1月6日(金)

### 1次試験

◆期 日 平成24年1月14日(土)

◆会 場 白河市産業プラザ人材育成センター

◆試験科目 国・社・数・理・英 作文(500字) 2次試験

1次試験合格者のみ案内いたします。

口述試験・身体検査

### 推薦採用試験

◆受付期間 平成23年11月1日(火)～平成23年12月16日(金)

◆試験日 平成24年1月7日(土)～1月9日(月)の指定する1日

◆会 場 陸上自衛隊高等工科学校(神奈川県横須賀市)

◆試験科目 口述試験・筆記試験・身体検査

◆問 自衛隊福島地方協力本部 白河地域事務所  
TEL 024812410372

## 思春期・青年期のお子さんをお持ちの皆さんへ

思春期・青年期は、身体だけでなく心も大きく

変化する時期です。思春期・青年期の心の動きやコミュニケーションの取り方等についての講演会が開催されます。参加は無料です。引きこもりやニートで悩んでいる方、関心のある方は、ぜひ参加してください。

◆日時 11月22日(火) 13時30分  
◆場所 サンフレッシュ白河  
◆内容 講演「思春期・青年期の心に寄り添うために」家族の心構え」  
家族交流会(希望者のみ)

◆講師 NPO法人ビーンズふくしま理事長 若月ちよ氏(ひきこもりを体験した当事者)  
※参加申込は、県南保健福祉事務所・保健福祉課障がい者支援チームまで  
TEL 024812215649

◆問 町民福祉課・福祉グループ TEL 4614573

## 暮らしと仕事に大きな安心を

求職活動中の生活と就労等のご相談に応じて関係機関と連携して様々な支援を行います。

①生活資金に関する相談 ②住居情報に関する相談 ③就職支援に関する相談 ④能力開発に関する相談

ふくしま求職者総合支援センター  
福島窓口 福島市三河南町1-20  
コラッセふくしま2F  
TEL 024152512510

◆開所時間 月曜日～土曜日 10時～18時30分  
(水・日・祝日及び12月29日～1月3日は休所)  
郡山窓口 郡山市島2丁目402

もう一度」

ふくしま地域共同就職支援センター内  
TEL 024199515057

◆開所時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時  
(土・日・祝日及び12月29日～1月3日は休所)  
電話による相談も対応しています。お気軽にご相談ください。

## 第28回黒羽矯正展開催のご案内

第28回地域とふれあいの黒羽矯正展が、11月23日(勤労感謝の日)午前9時から午後2時30分まで、栃木県「黒羽刑務所」で開催されます。

当日は、刑務所内の見学や現状紹介、作業体験、各種イベントやバザー、その他が行われます。また、受刑者が製作した各種家具、工芸品、ガーデニング用品、日用雑貨などの展示・販売も行われます。受刑者の社会復帰に対するご理解とご協力をお願いします。

◆問 栃木県大田原市寒井1466の2 黒羽刑務所  
TEL 028715411198

## 「第11回菊池利次油絵展」

◆問 埼玉県在住の画家菊池利次さん(中石井字黒助出身)の個展が、11月18日から20日までの3日間、ユールパル矢祭で開催されます。

時間は午前10時から午後6時までで、最終日は午後5時までとなります。油絵35点余りが展示販売(半額以下)され、売上金はすべて矢祭町発展のために寄附されます。ぜひご来場のうえ、お買い求めくださるようお願いいたします。

## 福島県議会議員一般選挙

東日本大震災により延期されていた福島県議会議員一般選挙が次のとおり行われますので、棄権しないで投票しましょう。

◆告示日 11月10日(木)

◆投票日 11月20日(日)

なお、選挙の当日に仕事や出かける用事がある場合には、期日前投票所において期日前投票をすることができます。

◆期日前投票日 11月11日(金)～11月19日(土)

◆投票時間 午前8時30分～午後8時00分

◆期日前投票所

矢祭町山村開発センター

ご不明な点がありましたら、矢祭町選挙管理委員会(TEL 4613131)までお問い合わせください。

## 税理士による災害に関する 税の無料相談会のお知らせ

◆日時 11月26日(土)27日(日) 午前10時～午後4時  
◆会場 白河市産業プラザ人材育成センター(白河市中田140)

## 人の動き

10月1日現在の住民基本台帳より ( )内は前月比

人口	6,493人	(- 5)
男	3,173人	(+ 1)
女	3,320人	(- 6)
世帯	2,082人	(- 4)

### ●10月中の動き

	男	女	計
◇転入	4人	1人	5人
◇転出	3人	6人	9人
◇出生	2人	3人	5人
◇死亡	2人	4人	6人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	☎46-3131
企画財政グループ	☎46-4579
税務グループ	☎46-4572
町民福祉課	
健康グループ	☎46-4573
福祉グループ(介護保険)	☎46-4581
生活環境グループ	☎46-4574
町民グループ	
事業グループ	☎46-4577
産業グループ(観光担当)	☎46-4576
F A X	☎46-3025
議会事務局	☎46-4578
出納室	☎46-4571
山村開発センター	☎46-2097
中央公民館	☎46-2202
教育課	
学校教育グループ	☎46-4580
生涯学習グループ	☎46-2202 FAX兼用
F A X	☎46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

**今月の納税**

- 固定資産税 4期
- 国民健康保険税及び介護納付金 6期
- 後期高齢者医療保険料 4期
- 介護保険料 6期
- ※口座振替日・納期限 11月30日(水)

## 消防のしごと

住宅防火、命を守る7つのポイントを身につけましょう。

### 3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスこんろなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。

### 4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力的体制をつくる。

### ◆矢祭町内の件数

- ・火災件数 14件
  - ・救急出動 185件
- (平成23年1月1日～10月11日現在)

今もむかしも火の用心  
あなたを守る

◆問 棚倉消防署矢祭分署  
TEL(46)2119

11月9日から15日まで秋季全国火災予防運動が実施されます。



# 議会だより

No.118  
2011.11.1

やまつり

## 22年度10会計決算を認定 歳出総額は61億6386万6千円

～財政健全化判断比率は良好を示す～



▲決算審査をする監査委員

法律に基づき市町村では、毎年度決算のたび4つの健全

### 財政健全化 判断比率は良好

国民健康保険特別会計は国保の収入未済額が8,866万3,678円となっておりますので、国保事業の円滑な運営を図る上からも、収入未済額(滞納額)の徴収には、なお、一層の努力をされま

### 特別会計

化判断比率の公表が義務付けられております。町の決算では、実質・連結赤字比率ともに黒字で赤字額は発生しません。実質公債比率、将来負担比率は健全化判断基準を下回り良好な財政の健全化が図られております。

### ■平成22年度会計別決算状況

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	4,794,586	4,639,177
国民健康保険	801,634	727,986
水道事業	164,151	154,240
老人保健	1,526	1,526
工場地造成事業	10,450	1,788
宅地造成事業	5,037	906
農業集落排水処理事業	31,232	28,539
介護保険	516,312	485,275
後期高齢者医療保険	120,797	120,686
霊園事業	3,916	3,743
小計	1,655,055	1,524,689
決算総額	6,449,641	6,163,866

### ■平成22年度基金決算状況

(単位：千円)

基金名	平成22年度末現在高
矢祭町土地開発基金	99,706,310
矢祭町肉用牛特別導入事業基金	493,240
矢祭町ふるさと水と土保全基金	10,372,482
矢祭町福祉基金	63,803,125
矢祭町減債基金	281,660,033
矢祭町21・ふるさと人づくり基金	111,433,210
矢祭町ふるさとづくり基金	3,779,088
矢祭町地域振興基金	63,737
矢祭町学校基金	1,909,811
矢祭町高田基金	101,988,448
矢祭もったいない図書館基金	1,136,313
矢祭町財政調整基金	1,833,709,651
国民健康保険給付費支払準備基金	4,185,336
国民健康保険出産費資金貸付基金	3,516,533
矢祭町介護保険臨時特例基金	0
霊園管理運営基金	175,000
合計	2,517,932,317

平成22年度矢祭町財政健全化判断比率及び資金不足比率の審査についても適正に作成されており意見書を提出して精励に敬意を表し審査報告といたします。(要旨)

- ◎平成22年度矢祭町一般会計歳入歳出決算認定(議案第69号)
- ◎平成22年度矢祭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(議案第70号)
- ◎平成22年度矢祭町水道事業特別会計歳入歳出決算認定(議案第71号)

- ◎平成22年度矢祭町老人保健特別会計歳入歳出決算認定(議案第72号)
- ◎平成22年度矢祭町工場地造成事業特別会計歳入歳出決算認定(議案第73号)
- ◎平成22年度矢祭町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定(議案第74号)
- ◎平成22年度矢祭町農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定(議案第75号)
- ◎平成22年度矢祭町介護保険特別会計歳入歳出決算認定(議案第76号)

### 決算認定

監査委員 白石勝夫  
監査委員 坪豊明

## 25議案可決

9月定例会は、9月13日から16日までの4日間の会期で開催されました。初日は町長から提案理由、会計管理者・担当課長から全議案の内容説明。2日目は、議案調査のため休会。3日目は一般質問で議員7名が登壇し町政全般に対して質問が行われました。4日目の最終日は、平成22年度矢祭町一般会計及び9特別会計決算認定、専決処分の承認2件、報告1件、矢祭町東日本大震災による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定ほか1件、平成23年度各会計補正予算9件が提案されました。議員発議では、「東日本大震災による矢祭ニュータウンの復興に関する意見書」1件を追加提案し、合計25議案が審議され原案どおり可決されました。



### 一般会計

歳入決算額は47億9,458万6,850円となり、予算現額に対して2億656万150円の減額となりました。これは、繰越明許費及び事故繰越しの財源である国庫支出金5,897万円、県支出金3,57万5千円が未収入のためであります。歳出決算額は46億3,917万7

120円となり、予算現額に対して3億6,196万9,880円の配当残額となり、執行率は92.7%となっております。収入未済額の関係もありますが、繰越明許費及び事故繰越し8,442万6千円が入っており、実質的な不用額は2億7,754万3,880円となります。歳入において自主財源の大宗をなす町税は本年度末現在において6,459万8,530円

平成22年度決算審査については、去る8月22日から26日までの5日間、本町において白石、坪監査委員の両名をもちまして、地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により、町長より審査に付されました平成22年度矢祭町一般会計ほか9特別会計の決算並びに諸帳簿・証書類及び各基金の運営状況について、決算資料或いは毎月行っています例月出納検査の資料を参考に、また必要に応じて関係者の説明を受けるなど慎重に審査をしたところ、各会計とも数等に誤りはなく、不適正と思われる収入・支出も見当らず適正に処理されておりました。よって、平成22年度各会計の決算は、歳入歳出ともに正確なるものと認めました。基金についても、それぞれの目的に従って適切に且つ効率的に運用されており。

収入の状況は、本年度の実質収支額は1億3,352万1千円、前年度の実質収支額を差し引きますと単年度収支額は60万7千4百円の赤字となり、これに黒字要因であります基金積立金6億2,231万8千円を加算し、更に赤字要因である基金取崩額1,400万円を減額しますと本年度の実質単年度収支額は6億2,244万4千円とかなっていない黒字になっております。財政調整積立金の本年度の積立額は6億2,231万8千円で取崩額は1,400万円であり、本年度末の現在額は18億3,370万9千円となり、前年度末より6億8,311万8千円の増となっております。町債については、本年度発行額は6億5,786万7千円で償還額が4億6,411万円であり、本年度末の現在額は40億1,765万9千円となり、前年度末よりも2億5,145万7千円の増となっております。

## 第6回定例会 9月13日～16日

### 平成22年度決算報告

の収入未済額(滞納額)が生じております。未収入額の整理は、役場一丸となって実施している町税滞納ゼロ作戦は、実質的に機能しておらずマンネリ化した徴収体制を早急に改善し、実効性のある体制に強化を図るよう望みます。

# 東日本大震災・幼保・小中一貫教育施設整備など 一般会計 2億6181万9千円 を追加可決

◎平成22年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定（議案第77号）  
◎平成22年度矢祭町霊園事業特別会計歳入歳出決算認定（議案第78号）  
◎議案第69号から議案第78号は、去る8月22日・23日・24日・25日・26日の5日間にわたり、監査委員の審査に付しました。

## 報 告

◎専決処分（議案第67号・議案第68号）を承認  
それぞれ緊急を要するためやむをえず専決処分をしましたので、地方自治法179条第1項の規定に基づき承認を求めるところです。  
◎専決第11号 平成23年度矢祭町一般会計補正予算（第4号）  
3月11日に発生しました東日本大震災により地震災害被災者の住宅再建支援事業補助金及び学校施設等の原子力災害による放射性物質除染費用並びに農産物を中心とした放射性物質測定器購入等が主な補正です。

◎専決第12号 平成23年度矢祭町一般会計補正予算（第5号）  
3月11日に発生しました東日本大震災により原発事故の長期化に伴い、放射線量の測定に關し県民の関心が高まっており、特に妊婦や子どもを持つ親の不安解消は、子どもを健やかに生み育てるためにも重要な課題となっており、町では県の「ふくしまの子どもを守る緊急プロジェクト」を活用し、全額補助となる妊婦から中学生を対象にした放射線個人線量計の購入・レンタル料と各行政区へ貸し付ける放射線量機器の購入費用等が主な補正です。  
◎平成22年度矢祭町財政健全化判断比率及び資金不足比率について（報告第4号）  
自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して早期に健全を促すため、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、健全化判断比率として実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの指標と公営企業会計の資金不足比率が平成19年度決算より議会への報告が義務付けられましたので、

## 条 例

◎矢祭町東日本大震災による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定（議案第79号）  
東日本大震災により甚大な被害を受けたと認められる方々及び主たる生計維持者の事業収入等の減額が平成22年度の10分の3以上になった場合また、原子力災害対策特別措置法に基づき避難されている世帯に対して町税等の減免を行い支援するものです。  
◎矢祭町税条例の一部を改正する条例（議案第80号）  
現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律が平成23年6月30日公布・施行されたので、寄付金税額控除の拡充、故意の申告者不提出による対応等本町税条例についても一部改正をしますのであります。

◎平成23年度矢祭町一般会計補正予算（議案第81号）  
平成22年度繰越金の確定、町民税法人税割額の増、財政調整積立金、東日本大震災により被害を受けた矢祭ニュータウンの地盤調査及び被災地への災害見舞金給付のための宅地造成事業特別会計への繰出金、幼保、小中一貫教育施設整備のための土地購入費、設計委託料等が主な補正です。  
◎平成23年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第82号）  
平成22年度の繰越金確定に伴う補正です。  
◎平成23年度矢祭町水道事業特別会計補正予算（議案第83号）  
平成22年度の繰越金確定、水道施設の修繕、国道118号駒橋地内配水管移設工事増等が主な補正です。  
◎平成23年度矢祭町工場団地造成事業特別会計補正予算（議案第84号）  
平成22年度の繰越金確定に伴

## あなたから 請 願

提出された請願は所管の常任委員会に付託され、本会議において審査結果が報告されました。

東日本大震災による矢祭ニュータウンの復興に関する請願書  
小田川字中山27-138 ニュータウン中山区  
区 長 高 野 儀 一  
紹介議員 坪 豊 明  
審査結果 一部採択

## 町長に意見書を提出

◎東日本大震災による矢祭ニュータウンの復興に関する意見書（発議第4号）  
3月11日に発生した東日本大震災による矢祭ニュータウン被災者の一日も早い生活の安定や造成地地盤のボーリング調査などを要望する。

- ①災害に耐えられる造成地を目指し再発防止に努める。
- ②ニュータウン造成地のボーリング調査と必要な予算措置を講じること。
- ③被災者生活再建支援金、災害見舞金の支給。
- ④震災に係る住家の再調査。

◎9月定例会で可決した意見書1件を矢祭町長に対し送付しました。  
あなたから 陳 情  
◎小田川字中山27-176の大森泰幸より「被災宅地の復旧」と「矢祭町の心温かい支援」を求める陳情書（陳情項目）  
①被災宅地（家屋を含む）が、一日も早く復旧できるように国に支援を求めること。  
②地割れ、陥没した宅地、傾いた家屋などへの固定資産税については、被災の状況に応じた減免措置を行うこと。（条例化による税の減免）  
◎宝坂字手元12番地4、区民代表豊田隆夫外4名より宝坂字広平地内の株式会社辰己屋の堆肥工場から発生する公害について左記のとおり陳情書が提出されました。  
この堆肥工場は長年にわたり悪臭を発生し、大雨時には敷地内から大量の汚濁水が清流「田川」に流入、河川環境を悪化しているのが現状であります。特に悪臭は田畑等での農作業中には無難、住宅内での食事中にも臭いが漂って来て地域住民としてもこれ以上放置されることは許されず我慢の限界を超えており

あなたから 陳 情  
◎平成23年度矢祭町宅地造成事業特別会計補正予算（議案第85号）  
平成22年度の繰越金確定、東日本大震災に伴うニュータウン地質調査、被災者見舞金等が主な補正です。  
◎平成23年度矢祭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（議案第86号）  
平成22年度の繰越金確定に伴う補正です。  
◎平成23年度矢祭町介護保険特別会計補正予算（議案第87号）  
平成22年度の繰越金・介護給付費の確定による補正です。  
◎平成23年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（議案第88号）  
平成22年度の繰越金、23年度保険料確定、賦課及び過年度還付金の確定による補正です。  
◎平成23年度矢祭町霊園事業特別会計補正予算（議案第89号）  
平成22年度の繰越金確定による補正です。

◎陳 情  
憲法第16条に規定されている権利であり、国又は地方公共団体等の公共団体に對し、それらが所管する事項に關し、一定の措置をとるよう或いはとらないよう希望し申し出ること。  
地方公共団体の議会に對する請願の場合は、住所、氏名、（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）押印して紹介議員の署名または記名押印が必要です。

◎陳 情  
国又は地方公共団体等公の機関に對し、一定の事項に關して利害關係のある者がその実情を訴えて相當の措置を要望すること。請願のように法的根拠があるわけではなく議会に提出する際、紹介議員は必要ありません。

## あなたから 陳 情

あなたから 陳 情  
◎小田川字中山27-176の大森泰幸より「被災宅地の復旧」と「矢祭町の心温かい支援」を求める陳情書（陳情項目）  
①被災宅地（家屋を含む）が、一日も早く復旧できるように国に支援を求めること。  
②地割れ、陥没した宅地、傾いた家屋などへの固定資産税については、被災の状況に応じた減免措置を行うこと。（条例化による税の減免）  
◎宝坂字手元12番地4、区民代表豊田隆夫外4名より宝坂字広平地内の株式会社辰己屋の堆肥工場から発生する公害について左記のとおり陳情書が提出されました。  
この堆肥工場は長年にわたり悪臭を発生し、大雨時には敷地内から大量の汚濁水が清流「田川」に流入、河川環境を悪化しているのが現状であります。特に悪臭は田畑等での農作業中には無難、住宅内での食事中にも臭いが漂って来て地域住民としてもこれ以上放置されることは許されず我慢の限界を超えており

あなたから 陳 情  
◎平成23年度矢祭町一般会計補正予算（議案第81号）  
平成22年度繰越金の確定、町民税法人税割額の増、財政調整積立金、東日本大震災により被害を受けた矢祭ニュータウンの地盤調査及び被災地への災害見舞金給付のための宅地造成事業特別会計への繰出金、幼保、小中一貫教育施設整備のための土地購入費、設計委託料等が主な補正です。  
◎平成23年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第82号）  
平成22年度の繰越金確定に伴う補正です。  
◎平成23年度矢祭町水道事業特別会計補正予算（議案第83号）  
平成22年度の繰越金確定、水道施設の修繕、国道118号駒橋地内配水管移設工事増等が主な補正です。  
◎平成23年度矢祭町工場団地造成事業特別会計補正予算（議案第84号）  
平成22年度の繰越金確定に伴

あなたから 陳 情  
◎平成23年度矢祭町宅地造成事業特別会計補正予算（議案第85号）  
平成22年度の繰越金確定、東日本大震災に伴うニュータウン地質調査、被災者見舞金等が主な補正です。  
◎平成23年度矢祭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（議案第86号）  
平成22年度の繰越金確定に伴う補正です。  
◎平成23年度矢祭町介護保険特別会計補正予算（議案第87号）  
平成22年度の繰越金・介護給付費の確定による補正です。  
◎平成23年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（議案第88号）  
平成22年度の繰越金、23年度保険料確定、賦課及び過年度還付金の確定による補正です。  
◎平成23年度矢祭町霊園事業特別会計補正予算（議案第89号）  
平成22年度の繰越金確定による補正です。

◎陳 情  
憲法第16条に規定されている権利であり、国又は地方公共団体等の公共団体に對し、それらが所管する事項に關し、一定の措置をとるよう或いはとらないよう希望し申し出ること。  
地方公共団体の議会に對する請願の場合は、住所、氏名、（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）押印して紹介議員の署名または記名押印が必要です。

◎陳 情  
国又は地方公共団体等公の機関に對し、一定の事項に關して利害關係のある者がその実情を訴えて相當の措置を要望すること。請願のように法的根拠があるわけではなく議会に提出する際、紹介議員は必要ありません。

## 歳入補正の主なもの

- ◎町 税  
法人税現年課税分 170,000千円追加
- ◎国庫支出金  
公共土木施設災害復旧費負担金 30,682千円追加
- ◎県支出金  
災害救助費負担金 1,483千円追加
- 林業費補助金 4,923千円追加
- 小中学校災害復旧費補助金 5,427千円減額
- 公共土木施設災害復旧費補助金 30,682千円減額
- 埋蔵文化調査費委託金 8,000千円減額
- ◎寄付金  
災害救助費寄付金 200千円追加
- ◎繰越金（前年度繰越金）  
93,528千円追加
- ◎諸収入（貸付金元利収入過年度分）  
4,000千円追加
- ◎町 債  
教育施設災害復旧費債 3,500千円減額

## 歳出補正の主なもの

◎矢祭振興公社改修工事費

■平成23年度各会計別予算補正状況

会 計		既定額	補正額	予算総額
一 般 会 計		3,228,522	261,819	3,490,341
国 民 健 康 保 険 事 業		771,428	3,648	775,076
水 道 事 業		131,632	5,346	136,978
工 場 団 地 造 成 事 業		8,199	466	8,665
宅 地 造 成 事 業		8,832	14,908	23,740
農 業 集 落 排 水 処 理 事 業		28,100	2,653	30,753
介 護 保 険 事 業		482,844	30,058	512,902
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 事 業		125,900	△954	124,946
霊 園 事 業		1,600	121	1,721
特 別 会 計		8,000千円減額		
遺 跡 発 掘 調 査 委 託 料		90,000千円追加		
公 有 財 産 購 入 費（土 地）		27,200千円追加		
森 林 整 備 地 域 活 動 支 援 交 付 金 等		4,436千円追加		
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計 繰 出 金		11,562千円追加		
消 防 団 員 共 済 基 金 保 証 掛 金		7,524千円追加		
幼 保 ・ 小 中 一 貫 教 育 施 設 整 備（測 量 設 計 委 託 料）		27,200千円追加		
公 有 財 産 購 入 費（土 地）		90,000千円追加		
遺 跡 発 掘 調 査 委 託 料		8,000千円減額		

# 町の考えを問う 一般質問 (要旨)

9月定例議会の一般質問は15日午前9時から7議員より19項目の通告があり町政全般について執行部の考えを質しました。通告は左記の通りです。一般質問には、27人が傍聴に



環境・教育行政

豊明議員

訪れ、最後まで熱心に聴いていただきましてありがとうございます。議会は、誰でも自由に傍聴できますので、お気軽においでください。

## 7人が登壇(通告順)

- 1、**豊明議員**  
(1) 原発事故、放射能汚染から住民の健康とくらしを守る施策について  
(2) 教育村構想について
- 2、**金澤重光議員**  
(1) 小学校統合及び教育村構想について  
(2) 小・中学校グラウンドの表土除去について  
(3) 矢祭町防災計画について  
(4) 鳥獣被害について
- 3、**緑川進議員**  
(1) 矢祭町職員の現況と24年度職員の採用について  
(2) 風評被害とその対応について
- 4、**佐川富夫議員**  
(1) 河川の堆積土砂の除去について  
(2) 県道下関河内・小生瀬線のカーブ除去について

- 3、**岡田118号、関岡宇小坂地内に信号機を設置について**  
(4) 太陽光発電に対する補助について
- 5、**鈴木敏男議員**  
(1) 放射能汚染、その後の結果と対応について  
(2) 小学校統合と教育村構想について
- 6、**菊池清文議員**  
(1) 町民の良好な生活環境の維持・保全について
- 7、**鈴木一議員**  
(1) 環境放射線量対策(ホットスポット)について  
(2) 積算線量計の無償配布(中学生以下の子供)について  
(3) 甲狀腺(18歳以下)検査と県民健康調査について  
(4) 国道118号(東館地区)の歩道整備と補修について

## 環境行政について

質問

原発事故、放射能汚染から住民の健康を守る施策が重要ですが、具体的には、18歳未満の子どもの甲状腺の調査を実施すると共に全住民の定期的な健康調査が必要ですが、また、汚染状況の調査と除染を測定器で細かく調査を行うこと。特に、雨どいの下、側溝、学校の通学路など子どもたちの生活圏の除染費用等を国に要望する必要があります。対応と見解を求めます。

答弁 町長

国や県は、責任を持って進めなくてはならないと思います。3月11日どこに住んでいたか、どのように移動したか、個人の行動記録に基づき、全県民にアンケート調査をとって、今後の健康診断の資料にするという話であります。当然のことながら、乳幼児あるいは妊産婦の人たちは、別な角度からの調査もあると思います。当然、町にも調査

の依頼は来るものと思えますので、対応してまいります。

## 教育村構想について

質問

第四次総合計画はできたばかりです。総合計画では、統合小学校の問題、学校が持つ地域的意義並びに通学時間及び教育活動実施への影響を十分に検討し、地域住民の理解と協力を得ながら、小学校統合の時期については5年間で結論を出したい。それを小学校の場所まで決めて強行しようとする姿勢には納得がいきません。経緯と考え方を伺います。

答弁 町長

小学校の統合については、絶対に任期中に統合はやらないという言い方はしておりません。東館小学校の現状は、交通アクセスが非常に悪い地域であり、校舎の耐震力は町内の学校で一番弱い、また用地も少ないし、耐震工事をするには4億5千万円ぐらいの多額の費用と仮校舎も必要になります。

新しい土地を求めて統合小学校をつくるべきではないかという発想であります。

質問

第四次総合計画は、町長が提案し、審議会の委員28人が審議

をして、議会に出して議決されました。第四次総合計画をどう考えているのですか。町長は執行する責任があります。見解を伺います。

答弁 町長

総合計画については、確かに議会の議決をいただいておりますけれども、その後において変更は自由に行える計画でありまして、議会の議決なしに変更はできません。撤回して順序を踏んでやるべきです。見解を伺います。

答弁 町長

子供たちの教育環境、最良の場所をつかって提供するのには行政の責任だと思っております。子供たちを思えば、矢祭町の教育の50年の大計のスタートだと私は信じていますので、撤回するつもりはありません。

## 教育・防災・産業行政



金澤重光議員

## 小学校統合及び教育村構想について伺う。

質問

8月の全員協議会で町内の小学校を統合して子どもセンターを加え1カ所に集中する教育村構想が発表されましたが、現在に至るまでの経緯をお伺いします。

答弁 町長

現在5つの小学校があり、小規模ながらも効率のいい教育効果の高い事業を展開しております。私は、一貫して青ガキはたかなない、機が熟すのを待つという方向性で望んでおりました。

4月の町長選挙に当たり、各地域から統合の時期ではないかという意見をたくさんいただきました。教育村構想は、小学校を統合するならば1カ所へ集中して教育施設をつくって、将来を担う子供たちが健やかにたくましく成長できる施設をつくるべきであると判断をしております。

## 小中学校グラウンドの表土除去について伺う

質問

石井小学校及び石井幼稚園のグラウンドの表土をばく工事が行われましたが、ほかの教育施設も表土をばく作業を実施するのか、お伺いします。

答弁 町長

石井小学校は、夏休み期間を利用して、表土の入れかえをしております。石井小学校は町内で一番線量の高いところであり0・17マイクロシーベルト、表土を入れかえた結果、0・08ぐらいい下がっております。ほかの学校は表土の入れかえをしなくても、十分子供たちが表で遊んでも被害の出ない数値であると信じております。

答弁 教育課長

表土の入れかえ、遮水シート等と全部入れまして180万円くらいです。

## 矢祭町防災計画で注意すべき災害と対応を伺う。

質問

町は、町道を守り町民の生命・財産を災害から守るため、防災関係機関や自治体等と連携協力して、災害に強い町にすることを目的に防災計画が策定されました。どのような災害を想定しているのか、対策は万全なのか、

をしまして、議会に出して議決されました。第四次総合計画をどう考えているのですか。町長は執行する責任があります。見解を伺います。

答弁 町長

総合計画については、確かに議会の議決をいただいておりますけれども、その後において変更は自由に行える計画でありまして、議会の議決なしに変更はできません。撤回して順序を踏んでやるべきです。見解を伺います。

答弁 町長

子供たちの教育環境、最良の場所をつかって提供するのには行政の責任だと思っております。子供たちを思えば、矢祭町の教育の50年の大計のスタートだと私は信じていますので、撤回するつもりはありません。

## 一般行政

は補助額も多くして、農家の被害防止に努めてまいります。



緑川進議員

## 矢祭町職員の現況と24年度職員の採用を伺う。

質問

9月1日現在の正職員(教育委員会を含む)、通年雇用、臨時職員は何人か。いずれの職場も夜遅くまで電気がついていないように見受けられるが、人員不足はないのか。教育村構想はすでに各種説明会に入り、大事業であるのはご承知のとおりであります。24年度の職員採用をして行く考えはあるのか。不足人員は今年同様、通年雇用・臨時職員で対応するのか、お伺いします。

答弁 町長

現在は正職員が60名です。事務職員48名(うち教育委員会の事務職員5名)、保育士が6名、幼稚園教諭が6名、嘱託職員16名、講師は8名、外国人は英語指導助手1名、特別職は2名、合計86名の職員で対応しております。

## 風評被害とその対応は

質問

本町においても風評被害はあらゆる分野で見受けられます。特に、そさい、畜産、漁業(久慈川の鮎)、観光では、ユーパル矢祭、矢祭山、滝川溪谷など一部においては、死活問題になっているように感じられます。風評被害による損害額と損害賠償は、団体及び個人で行っているのか。今後風評被害が見込まれます。対応をお伺いします。

答弁 町長

8月末現在で、農林業分野で約2,500万、漁業分野で約500万、商工業分野で約1億6,000万位、観光分野で1億4,000万位、合計3億300万程度の被害があるのではないかと推計をしております。



風評被害もかなり高額に及んでおりますので、一日も早く原発事故が収束してほしいと思います。

**質問**

東白川地方町村会で緊急補償要望を提出しました。その後の経過を伺います。

**答弁 町長**

東白川地方町村会4町村で、風評被害に対する補償要望はしましたが、県と東電が進めております損害補償に切り変えて改めて要望額を出すようになると思います。

**建設、交通行政**



佐川富夫議員

**河川の堆積土砂の早急な除去を伺う。**

**質問**

高山地区を流れる小田川で高山公民館より保木山堰間は土砂が堆積し、雑木が繁茂して川幅が狭くなっている状況です。大雨により水高が増えて堤防を越すと田畑が陥没し人家に被害を及ぼす可能性がありますので、早急に除去が必要です。考えをお伺いします。

**答弁 町長**

管理が県南建設事務所と柵倉土木事務所であります。毎年、事業調整会議で河川の堆積土砂の除去は要望を出しており、今後も粘り強く要望をまいります。

**県道のカーブ除去を要望。**

**質問**

山下字関平地内で、県道下関河内・小生瀬線とふるさと農道が交わる丁字路です。上り坂の上、急カーブで下関から矢祭方面に右折する際、上から来る車がカーブで見づらい状況にあります。冬期間は路面が凍結し、朝の通勤時には多くの車がスリップをして危険な場所であり、事故で、大事故が起きない内に対応すべきと思います。考えを伺います。

**答弁 町長**

滝川開発期成同盟会からカーブの除去は要望が出ており、その都度事業調整会議で要望しております。優先順位があり、なかなか採択になりません。

**信号機の設置を要望。**

**質問**

矢祭トンネルを抜け、新山下橋方面から国道118号に交わる丁字路で、一旦停止をして右折する際、トンネル方面から出てくる車が大変見にくいので、停止

ラインより前に出ると、カーブで東館方面から来る車が見えにくく接触事故が起きたケースがあります。信号機の設置要望がありますので考え伺います。

**答弁 町長**

県警本部の管理下にある信号機の設置であります。県内、22警察署があり設置する信号機は年間、20基から30基ぐらいであります。町では、下石井字駒橋地内、江戸塚地内の県道と国道の接する地点など数カ所既に要望が出ており、設置していただけないのが現状であります。今後とも要望をまいります。

**太陽光発電設置補助は。**

**質問**

太陽光発電を設置する住宅に対して補助金を出しているのか、現在までに何世帯が設置して、補助金を幾ら出したのかお伺いします。

**答弁 事業課長**

住宅に対する補助金は、個人住宅改良支援事業のなかで、町内の施工業者が50万円以上の場合には10%、上限が10万円、この事業の中に太陽光発電も対象としております。本年度実績は1件で10万円、補助事業で取り組んでおります。

**答弁 自立総務課長**

再生可能エネルギー導入推進

市町村支援事業で、補助事業を実施する市町村に対して県が2分の1助成する制度がございます。

**環境・教育行政**



鈴木敏男議員

**放射能汚染、その後の放射線量測定結果と対応は。**

**質問**

前回6月の議会で放射線量について、町内全域の線量測定をお願いしましたので結果をお伺いします。

**答弁 町民福祉課長**

7月10日、8月と2回実施しております。8月31日、各地区の集会所を中心測定しております。大抵多目的集会所施設前0・12、馬渡戸公民館前0・13、追分多目的集会所前0・11、高野谷地多目的集会所前0・11、下石井入山0・11、茗荷多目的集会所前0・14、国道118号境町の境界0・15、国道118号大子町境界0・10、塩ノ海0・18、入山水源0・16になっております。(各地区の数値はマイクロシーベルト)

**質問**

3番議員と重複しますが、駆除隊に30万円、1頭3千円の助成金と聞いております。駆除隊が捕獲したイノシシにどのくらいセシウムがあったのかお聞きします。

**答弁 町長**

イノシシ個体の肉は、検査しておりません。機器の発注をしておりますので、10月末になれば、機器が入りますので町で検査ができます。

**質問**

野鳥、タヌキ、ハクビシン等も放射能汚染になっていると思いますが、対策についてお伺いします。

**答弁 町長**

野生動物、野鳥、タヌキ、ハクビシンは捕獲して放射線の測定は、非常に難しいと思います。

**小学校統合と教育村構想を伺う。**

**質問**

9番、3番議員と重複しますが、2カ月前議会で議決したにも関わらず、建設場所が変更になった子どもセンター、突然降って沸いた小学校統合と教育村構想についてお聞きします。

**答弁 町長**

9番・3番議員にお答えしておりますが、今、少子化が進み、子供の数がふえない状況であり、

**環境・建設行政**



鈴木 一議員

**環境放射線量対策・ホットスポットについて伺う。**

**質問**

東京電力福島第一原子力発電所の事故による1号から3号機の原子炉建屋で水素爆発が起き、多大な放射性物質が拡散され矢祭町にも飛散しています。避難勧奨地点とされる超ホットスポットは無いと思いますが、線量の高いところはあると思います。モニタリング調査は実施されているのか、その計測結果はどのようなになっているのか、お伺いします。

**答弁 町長**

町内全域の線量を中長期的に測定するために、高性能の放射線測定モニタリングポストを矢祭山公園、上関健康ふれあい館、役場の3ヶ所に設置予定であります。更に、子供が活動する施設の線量を把握するため、リアルタイム線量測定システムが学校、幼稚園、保育所、開発センターの10カ所に設置を予定して

数少ない子供たちを1カ所へ集めて効率のよい、教育効果のある方向で進みたいというのが教育村構想の発端であります。3カ月前に子どもセンターの予算は議決いたしました。場所は、現在の幼稚園の北側の田んぼも買収してございます。6月の議会でも8番議員から、小・中学校の統合、1カ所へ建設してはどうかという意見をいただき、まさに教育のあるべき姿はそういうことかと思ひ、子どもセンターも小学校近くにつくるのが理想ではないか、子供たちをよりよい環境で保育、勉強させるのは行政の責任においてやるべきであるという信念を持っております。

**一般行政**



菊池清文議員

**生活環境について伺う。**

**質問**

環境行政、矢祭町民の良好な生活環境の維持保全について、公害の定義を町長はどのようにお考えなのか。お聞かせ願います。

**答弁 町長**

環境基本法第1章第2条第3

項に公害とは、一般的には事業活動や人の活動に伴って生じる自然及び生活環境の破壊が、地域住民や公共一般にもたらす精神的・肉体的・経済的な種々の被害や大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭ほかには食品公害等も基本法の中に入っております。

**質問**

8月25、26日ごろの福島民友を読んでおりました。月刊誌タクティクスの広告があり、矢祭町の堆肥工場に指摘される悪臭と水質汚濁という見出しがありました。事業所名が辰巳屋宝坂工場と実名、タクティクス編集部あてに矢祭町民からの投書に基づいて取材をした記事が掲載されております。記事の通りであれば、看過できるものではありません。町長の見解を伺います。

**答弁 町長**

宝坂地区の人たちからは苦情等も出ていたということですが、町へ正式な働きかけはなかったかと思ひます。公害、悪臭等に対する地域の住民の苦情が町民号の町政懇談会に寄せられたことがあったという経過は聞いております。

**町長の答弁で苦情は寄せられ**

ていないということですが、被害を及ぼしているかもしれない、事実を町当局は知っておりませんか。担当課長にお伺いします。

**答弁 町民福祉課長**

記録によると、平成21年7月29日、町に水田耕作者から草刈りをしていたら臭いがするので指導をしてもらいたいと情報が提供されました。すぐに工場側の河川の流水状況、臭いの状況の確認を行いました。石は赤色を帯びた独特の色になり、腐食質、暗黒色が着いており、臭いは、鼻に感じるような状況ではありませんでした。今年5月、8月、9月県南地方振興局の現地調査に同行して汚水状況や臭いを確認し、汚水はなかったが、工場責任者に注意をするよう話してきました。

**質問**

辰巳屋宝坂工場は、バーク堆肥の製造業と思っておりました。バーク堆肥は、杉、ヒノキの皮と発酵菌を利用して、窒素分の補てんに尿素を使う形で堆肥を製造しているものと思っておりますが、記事によると、食品残渣が相当量含まれていると書いてあります。本当なのか、お聞かせください。

**答弁 町民福祉課長**

平成10年3月18日に辰巳屋

ら県南地方振興局へ産業廃棄物処理施設設置の事業計画書の事前協議をしました。計画書によりますと、保管施設の概要の中で産業廃棄物名、木くず、動植物性残渣で、当初から野菜くず等は処理することで計画が上がっております。

**質問**

9月12日付で宝坂住民の方々から議長あてに署名入りの陳情書が寄せられました。見解を伺います。

**答弁 町長**

今回、タクティクスに記事が掲載されたことが、引き金になり地元の人たちの大きなうねりとなり陳情活動になったと想像しております。

**質問**

平成11年に町と辰巳屋との協定書を朗読していただきました。町は、問題が起きたとき、県南地方振興局、県南保健所等と協力しながらあらゆる検査等を実施して、住民に安心を与えることが大事だと思っております。見解を伺います。

**答弁 町長**

行政指導権は県南地方振興局ですが、町としても小まめに立入検査をして、指導して参りたいと思っております。

ございます。風向きや雨によって局地的に高い線量となる放射線ホットスポットの報告は、現在のところ出ておりません。

### 積算線量計の無償配布について伺う。

質問

目に見えない放射線の不安で子供の健康を第一にと考える親御さん方の心労は募るばかりだと思います。県では、市町村から希望があれば県内すべての子供約28万人を対象に、無料で積算線量計を配布して、家庭でも線量がわかる態勢を整えることができるとして、中学生以下の子供に積算線量計ガラスバッチを提供する市町村には、補助事業があります。

答弁 町長

中学生以下の子供全員にメーターを持たせる事業であります。対象人数分は全て県補助金であります。

ゼロ歳児から4歳児までと妊婦さんはデジタル式の線量計でありますので、保護者や妊婦さん本人が読み取ることができません。子供には、バッチ式線量計をかばんや体の一部につけて、何週間か何カ月間つけ、積算したものをメーカーへ送って読み取ってもらうリース事業になります。

ます。子供全員に持たせる予定で進めております。

### 甲状腺検査と県民健康調査を伺う。

質問

県では、チェルノブイリ原発事故の際、10歳以下の子供に甲状腺がんの増加が認められたことから、県民の不安解消に向け、今回の検査対象を18歳以下の36万人に対し、10月から2年半かけて超音波による甲状腺検査を行うもので、その後も20未満は2年に1回、20歳からは5年に1回のペースで調べるとしております。また、県民健康管理調査は、県民約200万人に順次、問診票を送付して個人の被曝量を算出する方法で、健康への影響の有無などを調査するとしております。この事業についての考えをお伺いします。

答弁 町長

基本調査は、3月11日を基準に、いつ、どこに居たか、どのように移動したか、何を食べていたかを個別に調査する事業です。詳細調査は、18歳以下を対象に甲状腺検査、19歳以上の成人には、今までの住民健診等を利用して健康診査を進めていきます。

子供の甲状腺には放射性ヨウ素が集まりやすいので、甲状腺

がんの発生が危惧されるわけであります。どの程度で発生率などの割合になるのか、全く推計の段階でありまして、息の長い調査になるのではないかと考えております。

答弁 町民福祉課長

問診票ですが、県立医大から9月20日に発送される予定で、郡内では矢祭町が一番早い時期であります。

### 東館地区の歩道整備と補修について伺う。

質問

館本地区の国道118号沿い東側歩道の車止め縁石が、大地震で盛り上がり箇所や、一部破損があります。石田地区は大水や洪水の際に、グレーチングや縁石の穴からも逆流をしておりますので、グレーチングなどの安全点検をお願いしたい。歩道整備ですが、並木町管住宅線の入り口（東館駐在所）の北の一部が未整備であります。歩行者の安全を考えると整備する必要があります。町長の考えをお伺いします。

答弁 町長

東館地区の縁石ですが、震災の影響か、割れて持ち上がったりしております。各所にありますので、棚倉土木事務所には修繕の依頼をしております。石

田地区内の豪雨の際の雨水処理も、県に点検要望して参ります。東館駐在所北側の歩道は、一部未整備でありますので、再度、地権者と交渉して整備促進を図ります。

### 定期監査実施

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、10月18日から21日までの4日間、白石勝夫・坪 豊明監査委員は、財務に関する事務の執行や町の経営に係る事業の管理、工事内容と進捗状況、各学校、町の出先機関の監査を実施しました。

◎監査内容

- 10月18日・19日
  - 町の財産に関する事務の執行
  - 町の経営に係る事業の管理
- 10月20日
  - 〈工事現場進捗状況・踏査〉
  - 町民プール屋外50mプール改修工事
  - 町民プールの過装置修繕工事
  - 町民プール屋内プール補修工事（その1・その2）
  - 平成23年度第82号道路災害復旧工事
  - 平成22年度友情の森バンガロー改築工事
  - 地域情報通信基盤整備事業（塙情報センター、町サーバー



▲町民プール 屋内プール補修工事



▲道路災害復旧工事（矢祭ニュータウン）

- 室）
- ・防火水槽水利状況確認
- 10月21日（学校及び出先機関）
- ・関岡小学校、下関河内小学校、矢祭町中央公民館、学校給食センター

### 町が出資する法人の経営状況報告

地方自治法第243条の3第2項の規定により財団法人矢祭振興公社から経営状況が報告されました。

〈財団法人矢祭振興公社〉

急速な円高の進行等により、依然として回復の兆しさえ見えない深刻な状況であります。平成22年度においてもお客様を第一に考え、職員一丸となつての営業努力により、平成21年度より僅かではあるが集客、収益とも伸びたところであります。結果的に平成22年度は数字的に黒字経営となったが、毎月の資金繰りにおいては非常に厳しい状態であった。職員の努力だけでは乗り切ることが困難な厳しい状況であるが、職員の創意工夫と合わせなお一層の奮起を求めたところです。

〈ユーバル矢祭〉  
・客室(地域別宿泊者)の状況

地域区分	人数(人)
北海道・東北	3,755
関東	5,953
北陸・中部	1,899
近畿	399
四国	177
九州	277
合計	9,980

(自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日)

### 議会の動き (主なもの)

- ★8月
  - 1日 東白川地方町村監査委員協議会総会（塙町）
  - 3日 東白衛生組合議会第1回臨時会（塙町）
  - 5日 圏域市町村長並びに代表者会議（白河市）
  - 11日 全員協議会
  - 11日 白河地方広域市町村圏整備組合第2回組合議会臨時会（白河市）
  - 12日 福島県農林漁業者総決起大会（東京都）
  - 19日 例月出納検査
  - 22～26日 決算審査
  - 25日 町村議会正副議長・事務局長研修会（福島市）
  - 30日 東白衛生組合決算審査（塙町）
- ★9月
  - 7日 議会運営委員会
  - 8日 地方自治研究交流セミナー（鮫川村）
  - 12日 矢祭町交通対策協議会
  - 13～16日 第6回町議会定例会
  - 17日 手づくり絵本コンクール
  - 18日 第1次審査会（町中央公民館）
  - 18日 第40回玉坂区民バレーボール大会
- ★10月
  - 2日 第15回みちのくシニアフットボール大会（矢祭町宮運動場）
  - 3日 福島県庁を郡山市へ移転を求める請願・陳情（福島市）
  - 6～7日 第21回町村監査委員全国研修会（東京都）
  - 7日 地方自治研究交流セミナー（棚倉町）
  - 7日 定例議長会（棚倉町）
  - 8日 地域交流事業ガーデナーティー（はなわ育成園）
  - 9日 第46回矢祭町体育祭（町営運動場）
  - 14日 東白衛生組合第2回定例議会（塙町）
  - 15日 第27回青少年の主張矢祭町大会（ユーバル矢祭）
  - 16日 秋季検閲（矢祭中学校）
  - 18日 町防犯協会東館支部防犯パレード（下関河内・東館地区）
  - 18～21日 定期監査

### 議会制度と 政治政局を展望

10月27日、郡山市「郡山ユラックス熱海」において、県内の町村議会議員が一堂に会し議員研修会が開催された。東京大学名誉教授の大森弥氏が「二元代表制と議会の価値」と題して講演、政治評論家の浅川博忠氏は「これからの政局・政治はどうなる」と今後の政局を展望した。



みなさんの町政です!!  
開かれた議会を目指し公開をしていますので、議会を傍聴してみませんか。  
次の定例議会は12月です。

### 全国町村監査委員 協議会会長表彰

10月6日に東京都港区のメルクパルクホールで開催された第21回町村監査委員全国研修会の席上、平成23年度町村監査功勞者の表彰が行われ、多年にわたる町村監査委員として地方自治の振興発展に貢献された功績により表彰の荣誉に浴されました。

町村監査功勞者

監査委員 坪 豊明氏

### 地方自治交流研究セミナー 矢祭町で開催

10月25日午後2時30分からユーバル矢祭において東白川地方4町村の議員・事務局職員28名が出席して地方自治研究交流セミナーが開催された。セミナーは、福島大学経済経営学類の小山良太准教授を講師に「地域再生の課題（農業振興）」と題し講演を聴講した。

第4回セミナーは11月21日塙町「塙農村勤労福祉会館」で開催されます。

# 今月のこの1枚

この写真は、東館神社ののぼり旗です。10月17日は町の秋祭り。原発事故による放射性セシウムが検出されず安心して食べられる今年の矢祭のコメ。改めて安全・安心の尊さを実感しました。(青砥)



情報カレンダー  
**11** 2011  
**12** 月

[略称] 当…当番医 山開…山村開発センター 塙…塙厚生病院

日	月	火	水	木	金	土
<b>6</b> ●子宮がん健診 ●骨粗鬆症健診 山開(9:00~10:00) ◎ 和田医院33-2012	<b>7</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>8</b> 立冬 ●運動教室 山開(10:00~11:00) ●リトミック教室 山開(10:30~11:30) ●カンガルーくらぶ	<b>9</b> 119番の日 秋季全国火災予防運動~15日 ●カンガルーくらぶ	<b>10</b> ●母親教室 塙(13:30~15:30) ●3歳児健診 山開(13:30~15:30)	<b>11</b> 世界平和記念日 介護の日 ●カンガルーくらぶ	<b>12</b> 
<b>13</b> ◎ 東館診療所46-3165	<b>14</b> ●4か月児健診・B C G 接種 (受付13:30~13:40)	<b>15</b> 七五三 シルバー交通安全の日 ●運動教室 山開(10:00~11:00) ●元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ●カンガルーくらぶ	<b>16</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>17</b> ●6か月児・11か月 児健康相談 山開(13:15~13:30) ●母親教室 塙(13:30~15:30)	<b>18</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>19</b> 
<b>20</b> 子育ての日 交通安全話し合いの日 第23回市町村対抗福島県 縦断駅伝競争大会 ◎ 大木医院33-2424	<b>21</b> ●心の健康相談会 山開(10:00~16:00)	<b>22</b> ●子宮がん健診 ●骨粗鬆症健診 山開(9:00~10:00) ●カンガルーくらぶ	<b>23</b> 小雪 勤労感謝の日 踏切事故防止の日 ◎ 金澤医院46-2312	<b>24</b> ●母親教室 塙(13:30~15:30) ●カンガルーくらぶ	<b>25</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>26</b> 
<b>27</b> ◎ 東白川中央病院33-3263	<b>28</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>29</b> ●運動教室 山開(10:00~11:00) ●元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ●カンガルーくらぶ	<b>30</b> ●カンガルーくらぶ	<b>12/1</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>2</b> ●カンガルーくらぶ	<b>3</b> 
<b>4</b> 人権週間 ◎ おおひら整形外科33-9468	<b>5</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>6</b> ●運動教室 山開(10:00~11:00) ●リトミック教室 山開(10:30~11:30) ●カンガルーくらぶ	<b>7</b> 大雪  ●カンガルーくらぶ	<b>8</b> ●3歳児健診 山開(受付13:00~13:15) ●母親教室 塙(13:30~15:30) ●カンガルーくらぶ	<b>9</b>  ●カンガルーくらぶ	<b>10</b> 世界人権デー 

本誌に掲載の写真は進呈しますので、ご希望の方は自立総務課までご連絡ください。

## 赤ちゃん誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	臍生	保護者	地区
結唯	千真	吾吾	宝坂区
浅見 颯汰	雄太	東宝	館坂区
高信 瑠加	美和	幸敬	東宝
吉田 汐李	百武	恵志	下石井

## おくやみ申し上げます

亡くなられた方	年齢	届出者	没日	地区
鈴木 照也	81	政一	10/3	中石井区
金澤 イマ	86	久子	10/4	宝坂区
小林 ミツイ	81	二郎	10/16	戸塚区
金澤 リン	88	和友	10/23	下関区
檜山 利秋	80	利男	10/25	山下区

## あ・亡・が・き

◇今月号は、「教育」に係わる記事の掲載が多くなりました。亡き古張信二町長は「町づくりは人づくり、人づくりは教育から」を町政の柱にし、教育行政に力を入れました。◇石井小学校はいち早く鉄筋コンクリート2階建て校舎を建築。近代的な環境の下で子どもたちは学びました。その後各校が次々と改築され、教育環境は大幅に改善されました。◇人は生まれてから世を去るまで、生涯が勉強。合理化が進む世の中ですが、「教育」だけは合理化はできません。(青砥)